

もったいない・おかげさま・ほどほどに、が環境と人間を育てる

も

う

M・O・H通信



M・O・H Journal

- to communicate and convey the message of Shiga's traditional principles of M・O・H -

50号
2016
Winter



特集:地域資源を活かして「食」

M・O・H通信
50号

特集: 地域資源を活かして「食」

2016 Winter



「大根の無償の布施」

大根一本百円也。これは、売り手と買い手間の取り引き上のルール。人から人へとお金は渡るが、大根は何の恩恵を得ることなし。牛や豚や魚など、生けるものの尊い「いのち」はすべて無償(ただ)で人間に施されるのだ。ああ、有難い、勿体ないことだ。

●増田 洲明

ますだしゅうめい=1946年滋賀県八日市浄土宗法泉寺生まれ。佛教大学社会福祉学科卒業。滋賀県立淡海学園勤務。「土と汗の会」主宰(知的障がい者との共働と生活)。書活動38年、県展・県書展(無鑑査)・毎日展受賞多数。現在「おわび紙と書とことば展」を県内外で活動中。

「M·O·H」のマーク=牛

牛は環境の象徴ともいえます。牛糞はメタンガスになり、肥料にもなります。大地を作り、食物を育て、生物を養います。私たちは命の源ともいえる、牛を「MOH」のマークとし、循環型社会の象徴とします。

★ M·O·H通信の役割 ★

持続可能で豊かな循環型社会を築く社会人の意識向上するためM·O·H通信は情報を発信し交流を続けます

M
O
H

循環
→もったいない

共生
→おかげさま

抑制
→ほどほどに

他の生命を奪って得たものを使わせて頂く

人は一人では生きられない、環境によって生かされている

欲はほどほどに、良き環境を作り上げるために

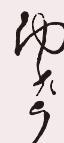


contents

目次

- M・O・H巻頭言
「食物」の自給力が無ければ持続可能社会は生まれない 森 建司 4
- M・O・Hな店 (わくわく共育ステーション)
障がいをもつ子どもの未来のために 大和 幸子 5
- ### 特集: 地域資源を活かして「食」
- ① M・O・H対談 (たねや)
自然に学ぶ食文化～商い・社会・未来～ 山本 昌仁 & 森 建司 10
 - ② 寄稿
「おいしが うれしが」知っていますか? 嘉田 由紀子 19
 - ③ 寄稿
おいしく 楽しく 美しく 中村 貴子 24
 - ④ 寄稿
「しがのええもん」レシピ 中田 慶穂・土井 詩子・藤岡 いづみ 29
 - ⑤ M・O・H座談会
「食」から広がる子育てのカタチ
田中 裕子・宮本 麻里・桐畑 裕子・前川 和彦 34
- M・O・H鼎談
女性が輝くために必要なことフランスvs日本
関口 一恵・森 建司・辻村 琴美 42
- 里のお話
ヒラタケ 三山 元暎 48
- M・O・Hレポート (なでしこファーマーズ)
食hana咲かそう!～食について話す交流会～⑦ 49
- M・O・Hレポート
ドイツ フォレスターインポジウム 山元 周吾 51
- M・O・Hレポート
湖北の再生可能エネルギー関連施設見学会 辻 博子 53
- M・O・Hレポート (環人ネット)
美の滋賀ふるさと深い学び塾 55
- 本の紹介 58
- 漫画
山暮らし子育て日記 オノ ミユキ 59
- 心温まる物語
松代大本営地下壕にて 今関 信子 61
- インターナショナルメッセージ 一独逸
森にふれて 原 修子 63
- 講演日記 65
- イベント紹介、M・O・Hニュース 66
- 第9回 M・O・Hせんりゅうコンテスト 2015
ベスト3決定 67

表紙



『りんごとみかんの
ある風景』
りんご、みかん、
アクリルガッシュ
撮影後はおいしく
いただきました。

- 4コマ漫画
にこやか 67
- 読者の声 68
- M・O・H通信申込書 69



地域資源を活かして 「食」

余呉川近くの湖北の集落のはずれ、
たわわに実る柿が残っていました。猿
は渋柿も食べるそうですが、お目こ
ぼしとなったのでしょうか。



「食う・する・寝る」このことは生きていくものにとつて絶対に欠かすことの出来ないものである。従つて介護等にとっても大原則であることは言うまでも無い。

勿論、人生にはこの三条件以外にさまざま必要条件があり、それも満たされて「幸せ」に生きられるのだが、そもそも「食物」が無ければ人間は存在できない。従つて

食物について考えるときは、現代の経済至上主義社会の「利益を目的とした経済活動」の対象から外して考へるべきである。

経済合理主義の範囲に踏み込んではならない。勿論、ときには需要を満たすために商品として流通することもあるだろうが、そこには経済活動としては限界があることを認識すべきである。

人間の欲望は刺激を受ければ、限りなく拡がる。その欲望に速やかになんでも応えていくのが、経済社会のシステム

である。結果として消費者は欲望を満たすため、自らが汗を流すことはなく、注文をすればすぐに手に入れることが出来るシステムを作り上げた。

その結果、われわれは生きていくための自給自足の体力すら失つてしまつた。「食物」についても、たとえ我が国で作れなくとも、世界で誰かが作ってくれる

今回の「TPP」によって広大な市場が確保されそうだ。
しかし、繰り返すが「食物」は、生きるために絶対に必要なものである。

それを供給する農業を、利益を目的とした資本の投資対象として、投資家にとって都合のいい業界に育てるのではなく、地産地消（もつと大きく自國自消か）で

「食物」の自給力が無ければ持続可能な社会は生まれない

森 建司

その為に消費者は、値段の安さだけにこだわらず、少しでも安くておいしいものを、スーパーで見つけて買ってくることが、消費者にとって唯一の仕事になる。

「食物」は流通業者にとって、まさに地域の農業者たちが安心して生産を続けられる価格で購入し続けて、「食物」の自國生産の体制をつくり守っていく必

要がある、と言うより責任がある。

その社会システムが構築されてこそ「持続可能な社会の第一歩」が始まるのである。将来にわたって需要が減ることははないだろうか。

「食物」は流通業者にとって、まさに地域の農業者たちが安心して生産を続けるための自給自足の体力を、スーパーで見つけて買ってくることが、消費者にとって唯一の仕事になる。

その社会システムが構築されてこそ「持続可能な社会の第一歩」が始まるのである。将来にわたって需要が減ることははないだろうか。



「うん、うん、そうね、あはは」この笑顔に救われる

障がいをもつ子どもの 未来のために

やまと きよこ
大和 幸子

株式会社わくわく共育ステーション 代表取締役

会社勤めをしていた大和幸子さんはあるきっかけから、放課後に障がいのある子どもたちを支援する「放課後等デイサービス」(9ページ※参照)の会社を独力で立ち上げて運営しています。従来の訓練や教育とはまったく違う発想の大和さんと発達障害の子どもたちとの賑やかな毎日についてうかがいました。

- 放課後等デイサービスなないろ（大津市大平）
- 2015年10月5日



明日の家族とのお出かけ
晴れますように♪



発達障害の子どもたち

何気なく住宅の角を曲がった瞬間、あつと声をあげそつになつた。家が建てこむ大津市の住宅街の中で突然目の前に、みずみずしい緑に囲まれた小さな坂道が現れたのだ。「この坂の上、大きな木々が枝を伸ばす心地良い高台に」「放課後等ティサー ビスないい」がある。

「なないろ」は今年5月に開設され、現在は毎日7、8人の子どもたちが放課後に思い思ひに好きなことをして過ごしている。

「室内でフリーレールを出して遊んだり絵を描いたり、最近は外遊びもだいぶするようになって、鬼ごっこしたりかくれんぼしたり栗拾いしたり、夏は園庭にプールを作つて遊んだり。大きい子と小さい子を分けずに一緒にしていることが良いようで、みんなで遊んでくれるようになります」と、「なないろ」を運営する大和幸子さんははじめてお嬢しさに話してくれた。

発達障害の子どもたちはそれぞれに人と関わることにむずかしさを抱えているため、他者と一緒にいるだけでも恐怖や不安、ストレスを感じて気持ちが不安定に

なつてしまつことがある。
ここに通い始めた当初は、

人に触られるだけでパニックになる子、視線が定まらず声をかけられても反応しない子、人のものを横から取つてしまふ子、暴言を吐き続ける子、暴れる子もいた。

「ところが、この半年でスタッフの私たちやおうちの方、そして学校の先生がびっくりするほど子どもたちが劇的に変わったんですよ」

何も見ていないかのようだった子は、カメラを向けるとカメラ目線で笑顔を見せるようになった。触られると恐怖でパニックを起こしていた子は、今ではギャグを言って先生に触らせて盛りあがつたり、自分から他の子に近づいていったり。今まで一度も宿題をしたことなかつた中学生は自主的

園庭でハンドミントン。後方にはネコのバス



に夏休みの宿題を2日で終わらせ、それ以降は他の子を諭すことばかり。何をしたら、子どもたちがそこまで変わるものだろう。

「全然、何も教えていないんですよ。教えることこのんことをしなじと決めているので」

自分のあり方次第で 子どもは変わっていく

大和さんは今年「ミニユニケーション」の講座に通い始めた。その中で、話さなくても伝わること、そして人を変えようとして意図的に人を操作しようとする関わり方ではなく、自分のあり方がいかに大切であるかを学んだ。

例えば暴れ回る子どもの場合、その子が怖いと話すスタッフには、怖いとか嫌いという感情は人として仕方がないこと、気持ちをねじ伏せようとせずに接すればいいとアドバイスした。すると、その子どもには何も言つてこなじのに、次の日から自然に静かになつた。

「スタッフに『嫌なら嫌でいい』と言つただけなんです。特に障がいのあるお子さ

んは敏感なので、キヤッチする力が強いと言われていますから」

宿題をしなくてはいけないと口で言つのは簡単だ。しかし、わかつてこてもできなじ子どもに話してきかせるのはあまり意味がない。

「この子たちを訓練しようとすることは全然ないんですよ。訓練として同じことを繰り返し繰り返しやると子どもにストレスがかかるし、私たちも思い通りにいかないストレスを感じる。そうしたストレスがまったくない状態で、子どもたちが自然に自主的に変わっていくような環境をつくりたいんですよ。一度うまく機能し始めると、良い方にどんどん進むんですね。例えば、どう関わると宿題をすることが必要だとその子が思ってくれるのかなどいつも模索しています」

きっかけは職場での体験

大和さんが放課後等ティサービス運営のための会社を起業したきっかけは、10年間勤めていた住宅メーカーでうまく社会生活に適応できず、苦しみだ末に仕事を

を辞める社員と接してきた経験にある。その中の何人かは発達障害ではないかと後から思った。

「ほめられると必要以上に喜び、怒られる必要以上に落ちこんで、その振れ幅の大きさで自分が壊れていく。人間関係にうまく対処できたら、能力を発揮して働くことができるのに…。大人になってからではむずかしいけれど、これから社会に出ていく子どもたちのために何かができるかもしないと思ったんです」

2013年に勤務先の都合で退職することになった大和さんは、かねてから気になっていた発達障害の子どもたちのために放課後等ティサービス事業を始めようと決意した。しかしマニアクアルモアディバイスしてくれる人もなく、認可のために法人格をとることや、役所にどの書類を提出しなくてはいけないのかなど、わからないことだらけ。現在も子どもたちに接していくのかなど、何もかもが手探りだ。目標に向かって突っ走り、決意してから2年で事業を始めた経緯を穏やかな笑顔で話す大和さんには、まだまだやりたいことがいっぱいあるようだ。





①お買い物形式のおやつタイム ②目でわかる ③「キャー！恥ずかしい！」
「よしよし（笑）」④やっぱり一緒に楽しいね ⑤にぎやかに彩る、みんなの
絵 ⑥通信で保護者とコミュニケーション



スタッフもそれぞれの個性を生かし笑顔いっぱい



ボリューム満点の
手づくりメニューの数々

今年の夏休みから長期休暇と学校が休みの土曜日に、学校の給食費と同じ1食250円で給食の提供を開始した。好き嫌いが多い子どもたちにも喜ばれる、価格以上の美味しさがあるメニューに知恵を絞り、調理も大和さん自らが行い、腱鞘炎になつたこと。考えてから走るのでなく、走り出してから考えるタイプと自らを評する。

「なないろは発達障害が専門ではないですし、将来は障がいのことをもっと社会に認識してもらえるような活動をしたいです。その第一歩として、今年11月からインターネットラジオの30分番組でパーソナリティーをすることになりました。障がいをもつお子さんのお母さんにも参加してもらえるような番組にしたいです。なないろも、子どもたちがいない時間帯は、障がいをもつ子どものお母さん同士が交流できるカเฟーにしようと思つてます」

未知の世界に飛び込んだ大和さんが、福祉業界にはなかつた新しい感性で新しい障がい者福祉のあり方を私たちにみせてくれる日も近いかもしれない。

※放課後等デイサービスとは、障がいのある小学校1年生から高校3年生までを対象とする、放課後や長期休暇中の見守りと支援のサービス。利用者が費用の1割を負担し、残りは国や自治体から支出される。

大和幸子 ニュートラル

○ 株式会社わくわく共育ステーション
滋賀県大津市大平2-4-30
TEL: 077-509-9077
<http://www.wkwmk-nanairo.com/>

●対談



やまもと まさひと
山本 昌仁
たねやグループCEO



もり けんじ
森 建司
循環型社会システム研究所
代表

〈地域資源を活かして「食」〉

自然に学ぶ食文化 ～商い・社会・未来～

さまざまな和洋菓子が評判で、いまや全国にその名を知られている「たねやグループ」が2015年1月にオープンした「ラ コリーナ近江八幡」。広大な敷地に社員がドングリの苗木を植えて森を育てたり、田んぼや畑仕事に汗を流したりと、〈自然に学ぶ〉を感じさせるプロジェクトはまだまだ進化中です。「たねやグループ」の事業成功のカギ、そして今後目指すものを山本昌仁CEOのお話から探ります。

- ラ コリーナ近江八幡（近江八幡市）
- 2015年10月9日





農業を使わない、できる限り人の手で行う農業を実践・研究（たねや農藝）

原材料を見つめ直すため 社員が「農」を実践

森 まず「たねや」さんの事業の概要をお話しいただけますか。

山本 私どもはもともとは材木屋から始まり、その後、種子を商っていました。明治5年にお菓子屋を創業した時、地域の人に付けていただいた名前を大切にしたいと店名は「たねや」にしました。お菓子屋を始めて140年余り、お菓子屋のこだわりを突き進んでいく中で、お菓子の原点となる原材料を見つめ直そうと、畑仕事など農の仕事を中心にして従事する「たねや農藝」を立ち上げています。

森 農藝、良い名前ですね。

山本 農業の仕事は芸術だということ、「農藝士」と呼ばれるような方々を育てたいと考えています。

森 さきほど、この「ラコリーナ近江八幡」でスタッフのみなさんが稲刈りをされているのを拝見しました。

山本 農をされている方の苦労を知るためには、自分たちも農をしないとわから



〈地域資源を活かして「食」—①〉

山本

森 そうです。今は農家の方も売り方を考えなくてはいけない時代です。
たねやのお菓子も、40年前東京

ないだろうと考えました。原材料のお米や小豆がとれているからこそ、われわれはお菓子が作れて商いが進められるのです。

今、農業関係の方々は自分たちで作ったものを自分たちの価格でお客様に販売するという一連の流れができるいないために苦労されています。作るだけで、違うところに売つてもらつていると、結果的に価格競争に入つてしまふ。農家の方が非常にこだわったお米を作られたとしても、最終的に他のものと一緒にされてしまうのではやる気がなくなるんですね。

森 ストーリーをもつことで価格競争から脱する。これは中小企業経営者には非常に参考になりますね。



何よりも大事なのはお客様に喜んでいただくこと

森 山本社長はどういう経営理念をもつておられるのでしょうか。

山本 これが当社のバイブル「末廣正統苑」で、社内だけの書です。その時代のトップがカラーを出してやつていけば良いけれど絶対にこれだけは変えてはいけない筋というものを先代の父が一つにまとめました。この中に「天平道、黄熟行、商魂」があります。

森 天平道というのは、行商した近江商人にちなんで作られた言葉ですね？

山本 はい。天平道は、商いの道は人の道であり、人の道から逸れるようなことはしてはいけないということ。昨今、業界でも食品の偽装などいろいろな問題があり、人間の道から逸れるようなことがあります。



社員必読の「末廣正統苑」

出てきていますが、これは原材料のこと

を何も考えずに価格競争に入ってしまう

い、そのしわ寄せが生産者に行つてしま

まつてあるから。利益だけを求めては絶

対にだめです。そもそも商いは常に人の

道だということを忘れなければ、そんな

方向へは行かない。

次の黄熟行は「手塩にかける」心。母

親が子どものために握るおにぎりに例

えると、母親は常に子どもがどういう場

面で食べるのかを考えて、塩多めでぎゅつ

と大きく握ったり、ふわっと小さく握つ

たりします。そういう風に、お客様がど

ういうシーンでお饅頭やバームクーヘン

を食べておられるのかを考える。お客様

の口に入るまでを考えた商品づくりを

していかないといけ

ない。

まさに、その通

りですね。

森 三つめの商魂

は、今日いかに儲け

たかではなくて、い

かにお客様に喜んで

いただけたかの心。

買つていただく以前

に、お客様に喜んでい

ただける空間づくり

ができるいるのかど

うか。雨の日に自転

車で来られたら、サド

ルが濡れないように

ビニール袋をかける

といった少しの配慮、気遣いが必要です。

森 山本社長のお話をうかがっている

と、経済学や経営学で盛んに言つている

ような株主の利益に貢献する、そのため

大量生産で競争に勝ついくのとはまつ

たく違いますね。お客様との信頼関係を

築くことを大切にする考え方には、日本

ならではの思想を感じます。すばらしい

ですね。

■ 安定的な美味しさの秘密

森 全国に43店舗を開いていて、

供給体制はどうされているのですか？

山本 お菓子は水が変わればすべて変

わります。たねやのお菓子を作つてある

ところは近江八幡と愛知川の鈴鹿山系

の水を利用して、東京で商い

をしていましても、毎日運んでいるんで

す。そのことで味が安定します。

これとは別に、例えば栗饅頭は140

年の間に実はどんどん味を変えている

です。現代と明治初期では味の感覚が

違いますから。今は美容や健康が重要

視されていて、できる限り砂糖の量は



ラコリーナ近江八幡内「愛四季苑」にて 山本氏(左)、森氏(右)



て変えているんです。

森 微妙に変えて同じ味に感じさせる…すごいですね。そういうのは、職人さんご自身でお考えになるなんですか？

山本 そうですね。初めだけは言いますけど、後はスタッフがいろいろ実行して、できあがつたものを食べておいしかったOK、世の中に

母親の“おにぎり”には、子どもへの心配りが表現されています。



減らさなくてはいけない。わからないようになっていって、お客様には「ああ、前と変わらずおいしいね」と言っていただくことがプロフェッショナルなんです。

菓子作りの修業をしましたから、小豆の良さはどういうところにあるのかといつた基本的なポイントは押さえていますので。

夏と冬でも水分や湿気の関係、人間の舌の感じ方が違いますから、栗饅頭もバームクーヘンも配合が違います。同じ一つの商品でも季節や気候、気温によつて自信をもつことで、必然的にブランド

になつていくのだと思います。お客様に喜んでいただける空間づくりができるのか、それと同時に今日スタッフが出勤ってきて本当に充実した楽しい一日を送れたのか、それがなければダメなんですね。日々の実践の中でお客様にご指導いただいたり、あるいは職人ですと毎日小豆ばかり炊いている人もいますが、それを飽きずにやっていくには、自分たちが作っているものをお客様に「おいしい」と笑顔で食していくだけシーンを想像することが大事です。社長に給料をもらつているから社長に食べさせてもらつているというのは大間違いで、給料をもらうのもお客様が買ってくださつているから、お客様のおかげというスタンス忘れないことです。

森 山本社長の世代でそういう考え方をもつてている人はほとんどいないんじゃないでしょうか。私は家が商売をしていましたので、高校卒業後に東京の繊維会社へ丁稚奉公に行きました。その時、親父に「あほになる修業に行くんだぞ。頭を空っぽにして身体で覚えるんだ」と言わされました。これは、今おっしゃつ





1



2





4



3



8



5



6



9



7



ていたようにお客様が何を望んでおられるかを肌身で感じることなんだと思います。今日はお話をうかがって、非常にうれしく心強くなりました。

人が集まる場づくり

森 最後に、「ラコリーナ近江八幡」の展望を教えていただけますか。この名前にはどういう意味がこめられているのですか。

山本 イタリア語で「丘」という意味で背景の山も含めて近江八幡の原風景を取り戻したい。そして、八幡瓦とかそういう見た目の近江八幡らしさではなくて、近江八幡の精神性がしつかり宿ったようなお店づくりをここでしたい。また、われわれは滋賀県の近江八幡で育ちましたので、この地域への感謝の気持ちを表すためにも、次の時代の子どもたちがこの滋賀県に住んでみたいなと思うような町を目指したい。それが「ラコリーナ」構想です。

森 この広い敷地を実際にどう使われるおつもりですか。



対談を終えて笑顔の二人



〈地域資源を活かして「食」—①〉

山本 今年1月にオープンした草屋根

のメインショップに400台の駐車場を含めても、まだ全体の面積の3分の1に過ぎません。来年の春頃には、メインショップの後ろに本社ができあがります。その本社の周りにチョコレート屋さんとかアイスクリーム屋さん、パン屋さ

ん、お餅屋さんなど、職人が育ってくれるいろんな小さな店をしたいと思っています。ゆくゆくはお昼の食事ができるようにも考えていますが、何年かかるかわかりません。将来はメインショップを抜けると目の前に田んぼがある風景を見ていただこうと思っています。

森 そんな風になつたら、またバスがいっぱい来てしまいますね(笑)。

山本 今まで商いでお菓子を売るとい

う世界の店舗しかやってこなかつたんですけど、ここでは買うことよりも、い

ろんな人が集まってくれる「ラコリーナ」

を目指そう。大学の先生や学生、あるいは小学生、赤ちゃんとお年寄りまでい

ろんな人が集まって賑わいのある場をつくりうと今考へてゐるところです。すで

にここの「愛四季苑」で山野草の寄せ植え

教室を開催しています。

森 今、地方がどんどん衰退していくます。しかし、山本社長がおっしゃったように、近江八幡でないと見られないものづくり、近江八幡に誇りをもつてそこで仕事をする、そういう社会になれば、

地域が再び活性化するでしょうね。「M.O.H活動」を通して、金儲けだけではない幸福を目指す社会をつくりたいと思っていますので、ぜひこれからもご指導いただきたいと思います。ありがとうございました。

○「ココリーナ近江八幡

滋賀県近江八幡市北之庄町 17 ココリーナ

TEL: 074-480-3300・666660
http://taneya.jp/la_collina/

勇氣涼
いの壁を打十破れ
森達司

● やまとまさひじ=1969年滋賀県

近江八幡市生まれ。19歳より10年間、和菓子作りの修行を重ねる。1990年株式会社たねや入社。第22回全国菓子大博覧会にて「芸菓子「長閑（のどか）なるかな」」を出品。『名誉総裁工芸文化賞』を25歳最年少授

与、以後、宮様のお墨付きを授受した栄誉と喜び、そして誇りを大切にしながら、菓子舗経営と更なる技術の研鑽、および後進

の育成に邁進する。2011年十代四郎平一郎の四代目を継承。2013年たねやグループCEO就任。

● ものかこ=1936年滋賀県生まれ。

滋賀県立長浜北高校卒業。新潟州株式会社顧問。循環型社会システム研究所代表。アグロビジネスカワセ座長。300年経営塾塾長。

著書／『吃音はなむる』遊タイム出版、『循環型社会入門』新風舎、『中小企業にしかできない持続可能型社会の企業経営』サンライズ出版、『中小企業相談センター事件簿』サンライズ出版、『中小企業が生きる道』サンライズ出版。





「滋賀の伝統野菜や地域特産物をもっと手軽に食べてもらいたい」（写真提供：滋賀県秘書課）

「おいしが うれしが」 知っていますか？

か だ ゆ き こ
嘉田 由紀子

前滋賀県知事 びわこ成蹊スポーツ大学学長

- 滋賀県の地産運動が生み出した
地域の魅力と自信・誇り

地域資源を活かして「食」。食料自給率40%と言われ、TPPの成り行きにハラハラしている昨今、滋賀県はどのような取り組みをしているのでしょうか。地産地消を庶民の台所に反映するにはどんな仕掛けが必要なのでしょう。環境の旗手である嘉田由紀子学長に寄稿いただきました。





写真1 おいしが うれしが ロゴマークとポスター

■川の流れのよつた連携のしくみ

2006年に滋賀県知事に就任する
はるか以前の1970年代から、私
身は滋賀県内の農山漁村の社会調査を

産地消をすすめる仕組みで、キャンペー
ンが始まって7年目の2015年9月末
段階で推進店が1349店、サポーター
は276事業者にのぼっています。

写真1のよつたポスター やロゴマーク
皆さん見たことがありますか？ これは滋
賀県が2008年9月から始めた「食べ
た人がおいしげ、提供した人がうれし
い」という食を介した「ミユニケーション
運動の呼びかけのためにつくったロゴ
です。「自然がおいしげ、心がうれし
い」「やっぱり地のものがええなあ」と
いうフレーズも自然豊かな滋賀県の風景
をイメージしてわかりやすい表現です。
また滋賀県の「しが」のかけ言葉も記憶
に残りやすいものです。この運動は滋賀
県内で生産された農畜水産物の販売業
者を「推進店」とし、また関心ある県産
食材の生産・流通加工事業者などを「サ
ポーター」として登録をしてもらい、地
産地消をすすめる仕組みで、キャンペー
ンが始まって7年目の2015年9月末
段階で推進店が1349店、サポーター
は276事業者にのぼっています。



①



③



②

- ❶ 地域食材発表会にて開発メニューを試食（2011.12.14）
 ❷ セブン・イレブンとの地域活性化包括連携協定（2008.9.17）
 ❸ 農産物成果発表会にて、農産物の魅力をさらに引き出す（2010.12.7）

して各地をまわってきました。米や牛を中心にながら、各地で露地の伝統野菜や琵琶湖の魚介類など多様な食材があるのに、「ここは何もない」と地元ではつい卑下しがちでした。そして滋賀県で生産された野菜がお隣の京漬物などでブランド化され、近江野菜というブランドもありません。

「縁の下の力持ち」で本当に「もつたいない」と思っていました。そして県の農業政策も生産者団体を主眼としての生産政策が多く、消費者向けの政策、あるいは食品加工業や料理を活用する観光業な



ごとの関係が大変弱いことを感じていました。そこで上流といえる食材の生産から中流部の流通加工料理、そして最下流の消費者まで、川の水が流れるような連携の仕組みが重要ではないか、という担当者の提案を前向きに受け止め予算化をして生まれたのがこの「おいしいしが『うれしが』」ですか。

■弾む会話と笑顔

2008年には1年のつもりではじめました。県内のホテルや料亭など、1年目で500以上の店舗が参加をして地元で掘り起こされた伝統野菜や湖魚などを活用して、さまざまメニューを工夫し試食会を行いました。たとえば甲賀市杉谷地区でしか育たないという伝統野菜の杉谷ナスビは、肉厚でありながら皮が薄く田楽にしたら最高！ 湖南市の小粒の下田ナスはあるじと漬物に！ 琵琶湖固有種のビワマスの鍋物などは和風旅館でコタツを囲んだら人気が出そうなメニューです。意外な取り合せとしては、彦根のホテルのシェフが生み出した伊吹大根の辛み

を閉じ込めたチョコレート！ 発表会でのつくつた人、食べる人の間での弾む会話とうれしそうな顔、顔、顔。これこそ「食を介したミニユニケーション！」と納得をし、2年目以降も継続をして新たな展開もしてきました。

■売り切れ続出

ひとつは、ホテルやレストランだけではなく、「フレンチなど、より一般向けの店での地産地消の展開です。セブン・イレブンと協力をして開発した近江弁当では、「ビワマス飯」に小松菜、近江牛のすき焼きをいれて人気商品になりました。守山メロンを活用したメロンパンなども生産が追い付かないほどでした。

もうひとつは、県外の一流ホテルなどに素材とレシピをセットで売り込みに行きました。たとえば京都市内のホテルでの発表会では、近江牛・アユやビワマス・伝統野菜にくわえて、滋賀県の地酒をもち込み、セットでの売り込みとなりました。また民間の努力で大阪中心部に滋賀県産野菜だけを使った

レストランがオープンし、梅田の人気スポットになりました。

■バトンは、つながれた

の延長として、シンガポールや香港など、海外への売り込みにも知事自ら出かけました。シンガポールでは、デパートで100グラム1000円以上もの値段の高級近江牛がどんどん売れるには驚きました。香港では、小アユの佃煮がご飯に相性がいい健康食品という触れ込みで人気一番。近江米も運びこんだ量がすぐに売れ切れ、日本食品への人気のほどがわかりました。

2014年に私自身が知事を退任してからも、三日月知事がいつも力強く「おいしいしが『うれしが』」キャンペーンをすすめてくれています。温暖化にも強い品種として滋賀県で独自に開発をしてきたお米「みずかがみ」の生産増強にあわせ、みずかがみの県外売り出しにも一役買おうと、三日月知事自ら県正面で餅つきをしたり、米粒のかぶりもので、愛嬌いっぱいの売り出しをしたり、存在感を高めています。



近江から発信



今、日本の農業は TPP の締結をうけてますます困難な時代に突入しています。そんな時代だからこそ、独自の風土の中で先人が育ってくれた近江米・近江牛を中心と伝統野菜や魚介類をも含めた「おいしが（うれしが）」のローカルキャンペーンが今後グローバルなひろがりをもつて展開していくことを願つてやみません。

8年目に入る「おいしがうれしが」。縁の下の力もち、何もないと卑下しがちな滋賀県で掘り起こされ育てられてきた食の文化が根を張り、ひろがり始めています。そこから、地域の自信と誇りが確かに育っています。食こそ個々の暮らしを豊かにするだけでなく、人と人をつなぐ、社会関係の融和剤でもあります。

●かだゆきこ＝埼玉県本庄市の養蚕農家出身。中学校の修学旅行で滋賀・琵琶湖に感動。京都大学入学と同時に探検部入部。電気もガスも水道もないアフリカで半年暮らし水と環境の価値発見。アメリカ・ウイスコンシン大学留学後京都大学大学院修了。農芸博士。滋賀県琵琶湖研究所研究員、琵琶湖博物館芸員を経て京都精華大学教授を務め2006年7月「もつたいない！」の訴えで県民の高い支持を得て滋賀県知事に初当選。財政再建、子育て・女性参画、文化・環境政策に尽力。2期8年知事を務め、2014年10月にびわこ成蹊スポーツ大学学長に就任。未

オーカルにアイデアを練つて、グローバルに展開、そのための重要な素材でもあります。これからは、おいしく楽しみながら、滋賀から、近江からの「おいしが（うれしが）」の発信に挑戦しましよう！

喜加田由紀子



Nadeshiko Farmers



食hana咲かそう2014のオープニング。中村貴子さんの挨拶（ホテル セトレマリーナびわ湖）

③寄稿〈地域資源を活かして「食」〉

おいしく 楽しく 美しく

なかむら たかこ
中村 貴子

京都府立大学生命環境科学研究所 農業経営学研究室講師

なでしこファーマーズでは、生産者と消費者をつなぐ試みを2013年から展開してきました。若いファーマーを応援しようという取り組みです。このきっかけとなったのが、京都府立大学の中村貴子先生。京都のマルシェを先導した立役者。彼女は煎茶道を心得、全国各地で起業する女子を励ましています。滋賀に地産地消の灯をともした中村先生の寄稿をお楽しみあれ。



共に、食を学ぶチャレンジ

農業農村には多面的機能があるとされています。多面的機能とは、健全な農業が展開されることで、食料を安定的に供給できることはもちろんのこと、国土保全、水の浄化、洪水防止、保健休養、景観形成などの機能が保持されることがあります。したがって、健全な農業を維持するためには、作る人がいて、購入する人がいることが大切です。同時に会して、作ること、食べることを話し合ひ、時間を共有することですが、ファンづくり、購入する人が増える第一歩だと思っています。

食育基本法が平成17年に制定されてから10年が経とうとしています。食育基本法を基に食育推進基本計画が制定されています。また、国的基本計画を基に、名都道府県、市町村でも基本計画が制定されているのですが、そこでは、年齢ステージ毎に食を学ぶ機会を設定すること、地産地消を推進することが書かれています。これを受け、小中学校では、食の大切さを理解する

ための食に関する教育「食育」が定着してきました。また、高齢者の福祉施設においても地域食や伝統食、行事食など大切にしています。

共有時間が欠落しているのは、高校生から高齢者にならまでの最も働く世代です。本来、この働き世代でも学ぶ機会がないとダメなのですが、実際にはその手法が確立されていません。また、熱心な自治体とそうでない自治体とで温度差が大きいことも課題と言えます。滋賀県で私たちが展開している「なでしこファーマーズ」の活動は、作る人、食べる人が「共に」食について話し合ひ、学び合つ時間を作る」とべのチャレンジなのです。

滋賀県には、なかつた

なでしこファーマーズとは、平成25年に国が農業や6次産業化を展開する女性のネットワークづくりを促進するた

めに、掲げられた事業を利用し、誕生したネットワーク組織です。

私は、以前から滋賀県でお仕事を

させていただいている、滋賀県にはなんて美味しいものがたくさんあるのだろう、琵琶湖を抱える滋賀県だからこそ、環境を保全する活動をどの産業の人も考えている、あるいは県民が考え・行動する活動もあちこちで展開されています。

そこで、全国各都道府県で女性のネットワークが広がっているのに、近畿では

2ヶ所の手が上がらない、そのうちの1ヶ所が滋賀県で、滋賀県にもこうしたネットワークを確立することができないか、という相談を受けました。この時に、どのようなネットワークが滋賀県らしいのかと考え、思ったのが、作る人、つまり農業や6次産業化を展開する女性だけのネットワークという形よりも、作る人、食べる人が共に考え、行動する形の方が滋賀県らしい、といつ結論に至りました。

これかな？ これだ！

次に多くの分野の人を知っている人、繋ぐ人はどなたがいいか、と考えたとき

に、この「M・O・H通信」とその編集長の辻村琴美さんの顔が思い浮かんだのです。「人」、とりわけ「地域」にこだわって、「県民」に焦点をあてた雑誌、しかも「環境」を考える雑誌を編集しておられる辻村さんだからこそ、色々な分野の方を繋いでくださるのでないか、とうつ直感が働きました。今では正しかったと確信に変わっています。

辻村さんにこのお話しをしに行つたとき、初めて新江州株式会社様の取り組みを拝見し、森会長（当時）ともお会いして、本雑誌が誕生した意義を肌で感じることができました。なでしこファーマーズは、森会長の「面白い取り組みじゃないか!」という一言がなければ誕生していませんでした。森会長には、「M・O・H通信」同様、新しく人を繋ぐ機会を後押ししていただいたと感謝しております。

食hana咲かそう！誕生

誕生したからには、活動しなければなりません。1年目はなでしこファー

マーズに取り組む意義を見つけるための活動でした。なぜ、いまネットワークなのか、女性といつキーワードなのか、集まってきたメンバーが各々どのような活動をされているのか、滋賀県の良い食材は?などについて学ぶ機会を持ちました。

また、これらの取り組みをまとめ るキーワードとして「食hana咲かそう!」という言葉も生み出しました。これは、食の話をしよう、といふことと、話し合いを通じて食の花を咲かせる、

「農業の明るい未来を考えよう」中村貴子講師／ローザンベリー多和田（2013.9.26）



記念すべき第1回／ローザンベリー多和田（2013.9.26）



「農業女性のネットワークが持つ力」安倍澄子講師／成安造形大学カフェテリア（2013.11.19）





「日本でオリジナルチーズづくりを」古株つや子講師／古株牧場直営ショップ湖華舞（2014.11.3）



「琵琶湖をめぐる物語」菊池玲奈講師／ホテルセトレマリーナびわ湖（2015.1.24）



「技を知るく作物から商品へ♪」高木ひさ子講師／甲津原交流センター（2014.9.11）

すなわち滋賀県の良い食べ物をみんなで見つけ、多くの人に知ってもらう、といふ意味が込められています。

私たちで続けよう♪

国からの助成金は1年で終わりましたが、2年目、3年目も頑張って活動しようと、メンバーによる年会費と、各事業の参加費とで、農、食にまつわることを考える共有時間を年に3回ほど持っています。

2年目は、地域に根差したお母さんたちの心意気、商品づくりを学ぶため、「甲津原漬物加工部」でお話を聞きしました。次に当会メンバー古株つや子さんにによるチーズ作りのお話とチーズ作り体験を通して、食育セミナーづくりについてみんなで考えました。3回目は1年目もお世話になったセトレマリーナびわ湖さんで、滋賀の食材を使った吉村シェフによる素晴らしいお料理をいただきながら、メンバーの活動を互いに紹介する3分間スピーチとブチマルシェで交流をしました。





なでしこファーマーズ 会員募集!

- なでしこファーマーズ＝滋賀県を中心に農・林・漁業やそれらを支える事業に携わる個人および事業者のゆるやかなネットワークづくりから、交流会等の実施によって、農・林・漁業を盛り立て、心と身体と暮らしの本質的な豊かさづくりを目指す。

会費は一口3,000円（複数口の納入も可能）

TEL : 090-4114-3239（担当：北井）

<https://www.facebook.com/nadeshiko.farmer.shiga>



メンバーが勢ぞろい、ミニマルシェ／ホテルセトレマリーナびわ湖
(2015.1.24)

3年目の2015年は、加工機械の製造販売を手掛ける東洋商会の社長、高木敏弘さんから農に対する熱い思いと、娘さんでshop Madoreを開く高木あゆみさんから米粉を材料とするおしゃれでおいしい商品づくりについて学びました。

11月28日には、高島市の中谷昌子さんから発酵食品の魅力と商品開発について学び、美味しい発酵食品をいただきます。3回目の日程は未定ですが、なでしこメンバーで、リターン農業をし、地域の伝統野菜「弥平とうがらし」の復活を進めってきた株式会社の二人からその心意気を学びます。

身も心も
農村風景も美しく

人との多様なつながりを持つメンバーだからこそ、多様な人が集まっています。メンバーは男性でも女性でもウエルカム！です。

今後は、滋賀県の魅力を県外の人にも知つていただく機会を持ちたいなあ、というのが私の夢です。そして、結果として、例えどんな社会が来ようとも、日本の農業が保全され、農地が保全され、私たちがこれからも美味しく楽しく食べられる日が続き、身も心も美しく、そして農村風景も美しくあり続けることを願います。本活動が全国に伝播できるか？私たちの挑戦は続きます。

中村貴子
あーく 楽ーく 美ーく

●なかむらたかこ＝1971年大阪市生まれ。現在、京都府立大学生命環境科学研究所農業経営学研究室専任講師。主な著書に、「食文化を生かした地産地消の可能性－京都府を事例として－」農林業問題研究（2008年）、共著「第20章地域を元気にする女性起業の六次産業化」、高橋信正編「農」の付加価値を高める六次産業化の実践（筑波書房）（2013年）。



「しがのええもん」レシピ



地元（滋賀県内）の食材を活用し、若い人も手軽に調理でき、栄養バランスも良くカラフルでお子様も喜ぶレシピがないかな？4人家族を想定して、材料と簡単な作り方が紹介できればいいな。クリスマスやお正月の季節料理で・・・と考えていたら、滋賀県の農と食の振興役の一人、青田朋恵さんが、ご協力くださいました。野菜ソムリエの方などに声をかけていただき「しがのええもんレシピ」ができました（ありがとうございます）。みなさんそろって、いただきます！



滋賀県産、 紫芋とリンゴの春巻き HOTポテトパイ



材料(4人分)

紫芋……………大1個
リンゴ……………大1個
黒糖……………大さじ2
春巻きの皮……………10枚
サラダ油……………適量

作り方

- ①紫芋は皮をむき、1cmの輪切りにしレンジで5分加熱して柔らかくしておく。
- ②リンゴは皮ごと5mmにスライスし、黒糖とリンゴをフライパンに入れてしまりするまで炒める。
- ③②に紫芋を入れ、まぜる。
- ④春巻きの皮に10等分した③を細長く入れ包む。

地域の食材、
野洲でとれたさつまいも、
「パープルスイートロード」
です。色が綺麗なさつまいも
です。このさつまいもで
モンブランをよく作り
ます。

- ⑤春巻きの皮にサラダ油を薄く塗る。
- ⑥180℃のオーブンでキツネ色になるまで20分焼く。
- ⑦出来上がり。温かいうちに食べるとパリッとして美味しい。



中田慈穂さん

●なかた しほ=宮古島アロエベラ親善大使、アロエ料理研究家。看護師をしながらアロエを使った料理教室を主催しております。アロエは医者いらず!と言われるほど身体にいい野菜です。毎日健康な身体で楽しい生活を送れるように日々の食生活を大切にしていきましょう。

ブロッコリーの 豆乳トマトスープパスタ

下茹でなしで
丸ごとブロッコリーを
使える簡単メニュー。
スープにカットトマトを
入れることで、
豆乳が苦手な方も
食べやすくなります。

材料(4人分)

パスタ	320g
塩	15g
水	3l
ブロッコリー	1個 (約250g)
シメジ	50g
ベーコン	4枚
水	400cc
固形コンソメ	2個
カットトマト缶	大さじ4
無調整豆乳	600cc
塩	小さじ1
こしょう	少々
オリーブオイル	大さじ2

作り方

- ①ブロッコリー花蕾は削ぎ切りにして、みじん切り、茎の部分

地域食材としてブロッコリーを選択しました。近年湖北地域でもたくさんブロッコリーが栽培されるようになりました。美味しく栄養価の高い野菜なので、

ぜひ多くの方におすすめの食べ方を知って頂きたいです。

今回は、知人である横田農園さんのブロッコリーを使用しております。

は厚く皮を剥いて、みじん切りにする。シメジは石づきを取つて小房に分ける。

- ②ベーコンは5mm幅に切る。
- ③鍋に3lのお湯を沸かして塩を加え、パスタを表示通り茹でる。
- ④フライパンにオリーブオイルを熱し、ベーコンに薄く焼き色が付くまで炒め、ブロッコリー、シメジを加えてさっと炒める。
- ⑤④に400ccの水を入れて沸騰させ、固形コンソメを加えて溶かす。カットトマト、豆乳の順に加え中火で1~2分程度煮込んだら塩、こしょうを加える。
- ⑥器に茹で上がったパスタを盛り⑤をかける。



土井 詩子さん

●どい うたこ=野菜ソムリエ、ジュニアアスリートフードマイスター、ハーブコーディネーター。自ら栽培した野菜、地元産の野菜を使用した料理教室を自宅や長浜市内各地で開催。旬の野菜を使い、あらゆるジャンルの料理を簡単に調理できるよう提案している。

ブロッコリーとパプリカのカリカリチキンロール



カレー味のチキンと
ブロッコリー、パプリカの
甘味がよく合います。
カラフルな色なので、
クリスマスや
おもてなし料理に
ぴったりです。

材料(4人分)

ブロッコリー花蕾………1個分
パプリカ……………3/4個
鶏ササミ……………6本

A カレー粉……………大さじ1
無糖ヨーグルト………大さじ4
塩……………小さじ1
砂糖……………小さじ1
しょうゆ……………小さじ1
薄力粉……………大さじ4
卵……………2個
無糖コーンフレーク…80～
100g(碎いておく)
サラダ油……………大さじ3

作り方

- ①ブロッコリーは30個の小房に分け、フライパンに小房に分けたブロッコリーと大さじ3の水を加え、蓋をして中火で水分がなくなるまで蒸煮し、ザルにあげ冷ます。
- ②パプリカは縦半分に切って種を取り、縦1cm幅に切って、ブロッコリーと同様に大さじ2の水で蒸煮する。
- ③Aの調味料を混ぜ合わせる。
- ④鶏ササミは筋を取り除き、半分に開いて両面に③を塗り2～3時間以上漬け込む。

- ⑤④の表面についているソースをキッチンペーパーで取り、ラップではさみ、すりこぎなどで15×8cmの長方形にする。厚さを均等にするため叩いてのばす。
- ⑥上のラップをはずし、パプリカと小房に分けたブロッコリーをのせて手前から巻く。
- ⑦⑧に薄力粉、溶いた卵、コーンフレークの順に衣をつけ、フライパンにサラダ油を熱し、蓋をして中火で両面焼く。最後に蓋を取って焼き、表面をカリッと仕上げる。

ブロッコリー茎の中華和え

材料(4人分)

ブロッコリー茎……………300g
塩昆布……………40g
酢……………大さじ1と1/3
ゴマ油……………大さじ1と1/3
糸トウガラシ……………適宜
ポリ袋……………中1枚

余りがちな茎の部分の
活用メニュー。
コリコリとした食感が
やみつきになります。

作り方

- ①ブロッコリー茎は厚く皮を剥き4cm長さの千切りにする。
- ②ポリ袋に1と塩昆布、酢、ゴマ油を加え、袋の上から軽くもみ、空気を抜いて口を閉め、しんなりするまで置く。
- ③器に盛り、好みで糸トウガラシをのせる。



赤こんにゃくの炒め煮



材料(4人分)

赤こんにゃく・1/2袋(150g)
こんにゃく・1/2袋(150g)

A	濃口醤油	大さじ3
	みりん	大さじ1
	砂糖	大さじ1
	ごま油	小さじ1
	かつお節	1袋
	七味唐辛子	好みで

作り方

- ①赤こんにゃくは食べやすい大きさに切り、下茹でする。
- ② ①を乾煎りし、水分がなくなったら、Aの調味料を入れ中火で炒める。
- ③汁気が少なくなってきたら、かつお節を加え、全体にからめる。
- ④好みで七味唐辛子をふる。

子どもの頃から
おばあちゃんの作る
こんにゃく煮は必ず赤かった。
私も毎年お節には
必ず赤こんにゃくの
炒め煮を作ります。



藤岡いづみさん

●ふじおか いづみ=野菜ソムリエ。
ジュニア野菜ソムリエ講座地域校
滋賀教室主宰。腸美人コンシェル
ジュ。ブログ「三姉妹ママの日記」
http://izumi.shiga-saku.net/



～地域資源を活かして「食」～

「食」から広がる 子育てのカタチ

たなか ゆうこ
田中 裕子

ごはん大すき！にぎにぎの会 主宰

みやもと まり
宮本 麻里

子育て応援力フェ LOCO 代表

きりはた ゆうこ
桐畠 裕子

子育て応援力フェ LOCO 副代表

まえがわ かずひこ
前川 和彦

株式会社ロバス余吳 マネージャー

ママも元気で子どもが笑顔

滋賀県長浜市には地域を元気にしたいと活動する団体がたくさんあります。子育て中のママを応援したい宮本さんと桐畠さん、子どもと一緒に過ごす時間を大切にしたい田中さん、湖北の生産者と消費者をつなぎたい前川さんに、子育てや食について語っていただきました。

■子育て応援力フェ LOCO（長浜市元浜町）

■2015年10月7日



ママの「あつたらしいな」を カタチにしたい

— それぞれの活動を教えていただけますか。

桐畠

私は宮本さんは、共に3歳と5歳の子どものママで2015年5月から「子育て応援カフェLOCO」を運営しています。親子に優しいママ目線でつ



くった、誰にでも利用してもらえるカフェで、主にランチとスイーツを提供しています。その他、保健師さんによる「あかちゃんぶれあい遊び」教室や臨床心理士さんなどの専門家に相談できる場を設けています。

宮本

— どういう経緯で立ち上げたんですか？

2013年に長浜市余呂地区の

未就園児サークル

で桐畠さんと代表・副代表を務めて、月4回の季節のイベントや広場遊び、畑での活動を企画しました。ママにとっては、子育ての情報交換や同じ月齢の子をもつ「ママ友」ができたことが良かったし、子どもたちにとっては、幼稚園に入る前に集団で過ごす

良い機会でした。そこで感じたことは、親子でもっと気軽に集まれる場所があるらしいなということ。小さい子どもを連れていける場所って意外に少ないんです。子どもがぐずつたりすると周りの目が気になつてリラックスできないことも。そんなママの悩みを解決できる場をつくりたいと思いました。

— 具体的にはどうされたのですか？

宮本

2014年5月に長浜市役所に相談に行つたところ、私たちのやりたい

ことが「子ども子育て・少子化対策推進方針」と合致しました。産業経済部や健康福祉部など、行政内で部署を越えた連携を取つていたとき、企業や商店、地域の人たちとの引き合わせをしてもらつた。この場所に入らせてもらることになつたんです。

桐畠 奇跡のタイミングでした。

宮本

私たちも、準備期間の1年余り、バイオビジネス創出研究会の創業塾で経営について勉強したりしました。そして誕生したLOCOでは、親子が気軽に立ち寄れるように授乳・



出しているので、

自分の作品を販売することができます。

自分のシヨツップを持ち

たいという夢へ

の第一歩を応援

しています。

前川 なかなか一

から自分のシヨツ

ップを持つという

のは大変ですよ

ね。そういう場

所があるのはいい

ですね。

しなぎやかで不安になる。
宮本 それ、すごくわかります。

田中 子どもたちと一緒に過ごしたいと
いう選択肢がもつと認められたらしいの
にな感じています。

——田中さんは「ごはん大好き！」にぎに
ぎの会」や「ながはま冒険あそび場」の
会を立ち上げておられて、子どもとの暮
らしを大切にされていますね。

田中 はい。にぎにぎの会では、「ごはん
大好き！」「お米大好き！」な子ども
達の輪が広がりますようにという想いの
もと、糠床づくりなど食べるための手作
業を親子で一緒に楽しむイベントをして
います。食べる手間を体感することで食
卓に並んだ料理を見た時に「これは畑
で採ったもの、これは琵琶湖で採れた
もの」とイメージがわきます。だからご
飯を見ていろんな想像が膨らむ。

にぎにぎの会のメンバーには80歳過ぎ
のおばあちゃんもいるんですが、料理の
知恵だけでなく子どもへの接し方でも
勉強になります。

前川 例えばどんなことですか？

田中 子どもたち同士でケンカが始まつ
うになると急き立てられるよう仕事
前川 ポックスにあるものは?
桐畑 ママさんのハンドメイド作品で
す。儿じではポックスのスペースを貸し
す。

キッズスペースなどの設備を充実させ
ています。コンセプトは「enjoy the
mommy life」。楽しんで子育てをし
てママである幸せを感じてほしいと思っ
ています。

前川 とても良い空間ですね。あそこの
ポックスにあるものは?

桐畑 ママさんのハンドメイド作品で
す。儿じではポックスのスペースを貸し
す。



「そうそう。わかります！」共感が生まれていく

子どもの基本の食事は 「ご飯とみそ汁とお漬物

田中 LOCICOのお二人に共感すること
は多いです。私は4人の子どものママで
専業主婦をしていますが、専業主婦って
「働かざる人」みたいに肩身が狭くなる
ことがあります。

前川 とても良い空間ですね。あそこの
ポックスにあるものは?

桐畑 ママさんのハンドメイド作品で
す。儿じではポックスのスペースを貸し
す。



①のびのび過ごせる座敷。LOCO店内 ②ママの夢の第一歩。ハンドメイド作品を販売（LOCO）③授乳・キッズスペースなどの設備が充実（LOCO）④産後バランスポールエクササイズ（LOCO）⑤お子様セット。手作りミートボール（LOCO）⑥ホッとママタイム（ウッディバル余呉）⑦ホッとママタイム（ウッディバル余呉）

た時、おばあちゃんが「今は見ときや。お母さんは手出したらあかん」と言つてくれる。見守るべきところ、手を差し伸べるタイミングがおばあちゃんを見ていくんです。みんなと一緒にいることで見守る余裕ができるくるんだと 思います。

宮本 いいですね。LOCOにもおばあちゃん世代の方がボランティアで来てくださっていますが、多世代交流ができるおばあちゃん自身も自分の活躍できる場ができるリフレッシュできると言つてくださいます。

——田中さんがこういう会を立ち上げたきっかけは何だったんですか？

田中 初めての子を妊娠中に全身アトピーになつたことがそもそものきっかけでした。離乳食づくりが始まると、とても張り詰めっていました。そんな子をアトピーにしたくないという想いから食材や調味料選びに必死になつたりと、とても張り詰めていました。そんな時「託児付き」と書かれた講演会に思わず駆け込んだんです。そこで聞いたのが「子どもの基本の食事は、ご飯、味噌汁、漬け物。それでいいんやで」ということ。



にぎにぎの会



⑧「よご子どもミュージアム」の木の玉プール（ウッディパル余呉）⑨みんなで食べるとおいしいね♪（にぎにぎの会）
⑩土の感触は気持ちがいい♪（にぎにぎの会）⑪食べる手間をみんなで体感（にぎにぎの会）

その言葉がストンと胸に落ちて肩の力が抜けました。きっと私と同じように悩んでいるママはたくさんいるし、私自身も情報交換しながら一緒に子育てを楽しくしていくける仲間を求めていたんだと思います。

桐畠

仲間がいるだけで安心できますね。ママの気持ちが楽になると、子どもはさらにのびのび過ごせます。

地域のために ママと子どもの学びの場

前川

私は株式会社ロハス余呉のマネージャーをしています。ウッディパル余呉、セミナーカルチャーセンター臨湖、滻と溪流の高山キャンプ場、浅井文化ホールの4つの施設の指定管理を行っています。ウッディパル余呉の指定管理を取らせて頂いた時、地域が元気でないと会社はうまくいかないという想いから「よご子どもミュージアム」をつくりました。遊びながら学び知育を促す施設です。それから「ホツとママタイム」。子育て中のママたちがウッディパル余呉に集い、





「ママのあつたらしいなをLOCOで実現したい」宮本氏

という交流イベントを年に1回開催しており、2015年で5回目になります。イベントの実行委員長を務める前川さんは、どのような想いを持っておられますか。

前川 社名の「ロハス」という名の通り、健康で持続可能な事業を目指しています。これまでの経緯として「生産者の想いをどうやって消費者に伝えていくか」

というように、どちらかといえば生産者目線でした。一度、子育て世代のみなさんの意見も聞きたいと思っています。田中さんは第1回目の時に来て頂き、にぎにぎの会の活動をご紹介いただきました。

田中 「よばれやんせ湖北」でやろうとされていることは、にぎにぎの会がやりたいことと近いと思います。昔は家の中

で食べ継がれてきた郷土の味が、今は受け継いでいくことが難しい時代になりました。なら、地域の中でつないでいくことが大事。郷土の味は、生き抜く恵みが蓄積されたものです。もしかしたら、子どものうちちはおいしいと感じないかもしれない。でも、食卓に並んでいたりする

「子育てを楽しく。ママである幸せを感じて」桐畠氏



地産地消を促進したい よばれやんせ湖北

—「M.O.H通信」では前川さんの口ハス余呉や他の団体と一緒に、湖北の生産者と消費者をつなぐ「よばれやんせ湖北」

前川 ありがとうございます。会社としては、主婦の方の雇用も積極的にやっているんですよ。

宮本 余呉の環境こだわり米や湖北町の中力粉を使って、野菜たっぷりのメニューを心がけています。

桐畠 野菜が多いと子どもは残すかなと思つたんですが、意外にみんな完食し

てくれます。

宮本 まだまだこれからですが、自分たちで種から育てた野菜をここで食べるということもしていきたいです。

次世代につなぐ

—今後の展望は?

田中 「食べることからのママ支援」です。最近「だしソムリエ」3級の資格を取つたんです。その講習で味わつたお味噌汁の、そのたつた一口に満足感と幸せを感じて本当に感動しました。でも「出汁は大変だから一番手を抜

「子どもたちに“帰れる味”を」田中氏

きたいところ」っていう周りの意見もあって。確かにそう思うし、出汁を取ることのハードルを下げるような提案がしていかればなと思っています。三度の食事作りが楽しくなれば、子育てはもっと楽しくなる。そんな風に「食べる」ことから子育ての支援をしていきたいですね。

桐畠 田中さんは本当にすごいです。私ももちろん、手をかけて丁寧に良いものを…って思うんですが、毎日の家事育児に余裕がなくて。もうちょっと余裕が出でなければ「そそう、本当は出汁が取りたかったんだや」とて思えるんだろうな。まずはリラックスして家でニコニコ笑うところからのママ支援をしたいです。

田中 「なんや、これでいいんや」って思つてもらえる活動をしたいです。私は職に就いてないけど、子どもが4人ともなるとけつこうひつちやかめつちやかで。だんだんサボることも覚えるんですよ(笑)

前川 田中さんでもサボろうという気があるの!?

宮本 意外でした。今後、田中さんにも

いろいろ教わりながら、まずはLOCOとしてできることからやっていきたいです。

前川 次世代の育成が大事だと思うので、こういう場で想いを語つていくことで伝えていきたいですね。みなさんのお話を聞いて、想いを発信し続けることの大切さを改めて感じました。

—本日はありがとうございました。

※ 第5回よばれやんせ湖北は2015年11月29日に開催され、流通・農業・観光が地産地消にどう取り組むかをフォーラム形式で語り合いました。

enjoy the mommy life !!

宮本 麻里
桐畠 裕子

子どもたちに
帰れる味を人々
生きる知恵を
食べ継ぐ

田中 桃子

●みやわとまつ=岐阜から余吳へ嫁ぎました。子どもたちの育児をきっかけに、親子連れが気軽に集える場所が少ない感じ、ママ目線のあつたつイイなをカタチにしました。もっと長浜が子育てしやすい環境となるよう、微力ながら頑張ります。

●きりはたゆいこ=はじめまして。副代表の桐畠裕子です。以前は保育士のお仕事をしていましたが、子どもを産み、育児奮闘中の今だからこそ、見渡せるものも、感じることもあるなど思い、新しい事業に挑戦しています。家族あつての今です。感謝を忘れずに精一杯頑張ります。

前川 和彦

●まえがわ かずひこ=1972年滋賀県生まれ。虎姫高校、大阪学院大学経済学部卒。大阪で1年働いた後、地元に戻り(財)ウッドハイバル余吳に勤務、2000年(株)



それぞれリーダーとして活躍する皆さん

口バス余吳の設立に係わり、現在は(株)口バス余吳のマネージャー。ウッドハイバル余吳の支配人、臨湖の所長を兼務。

○ウッドハイバル余吳
滋賀県長浜市余吳町中ノ郷260
TEL: 0749-86-4145
<http://woodypal.jp/>

●対談



せきぐち かずえ
関口一恵
元大阪家庭裁判所 調停員



もり けんじ
森 建司
循環型社会システム研究所
代表

つじむら ことみ
辻村 琴美
M・O・H通信 編集長

〈地域資源を活かして「食」〉

女性が輝くために 必要なこと フランスvs日本

日本ではいまだに女性の社会進出が、欧米のようには進んでいません。女性の仕事と家事の両立をむづかしくしているのは何なのでしょう? フランス在住歴30年、帰国後は大阪家庭裁判所の調停員を務められた関口一恵さんをお招きして、フランスの女性の生き方や制度から日本の現状の問題点について考えました。

- 北ビワコホテル グラツィエ（長浜市港町）
- 2015年9月30日



意外！フランスの食文化

辻村

今日はフランスに長年在住された関口さんのお話を通して、仕事と家庭・育児の両立がなかなか進まない日本の問題点について、フランスと比較しながら考えてみたいと思います。まず、関口さんがフランスに渡られた経緯などをお話しただけますか。

関口

研究者の主人との結婚を機に1965年に渡仏して、30年間暮らしました。パリ郊外に家を買って、娘はフランスの地元の学校に通わせました。主人が定年になつたら一家で帰国するつもりでしたが、まず娘が日本の企業に就職するのために帰国し、次に私が調停員の仕事を就くために主人より一足早く1994年日本に帰ることになり、1年ほどは夫がパリ、私は大阪という暮らしでした。

辻村

フランスでは「食」がとても大事にされているイメージがありますが、実際はどうなんでしょう？

関口

驚いたのはフランス人の家にまな板がなかつたこと！ お鍋の上でサツサツと大まかに切つてそのまま煮こんだ

り、大きいま
ま焼いたりし
て。結婚した
ばかりの頃、
夕食を作るの
に2時間くら
いかかるてい
たら、フランス
人に「ふだん
の食事にそん
なに時間をか
けるなんて！」

とあきれられました。

森 フランス人は料理に手をかけている

とばかり思っていました。

関口 いいえ。お総菜を売つてている店で

買つてくることが多いみたい。フランス

でお客さんを家に招くとき、前菜はたい

ていパテやサラミで、これは店で買つて

くるもの。メインは肉を焼いたり煮たり

した料理で、これは家で作りますけど、

凝るといつてもソースにちょっと工夫す
る程度。サラダはいろんな葉っぱにお酢
と油と胡椒や辛子を入れるだけ。あとは

果物とチーズだから、フランス料理って
さすが日本では今も官庁・企業ともに

女性も働き続けられる社会

森

さて、本題の女性の生き方についてですが、日本では今も官庁・企業とともに



フランス時代の我が家のお庭で。娘と一緒に



「こんなにゆっくり、たっぷり話せたのは久しぶり」 関口氏⑥森氏⑤

管理職に女性が

少なく、政治の世
界でもまだ女性
は少数派です。

働いておられます。
辻村 それは勤務体制が整っているか
ですか？

体制は整っています。ただそれだけではなくて、フランスでは結婚後も
ずっとご主人が家計を握っていらっしゃ
る場合が多くて、だいたいがケチだから
(笑)、フランスの女性は自分も仕事を
もつて収入を得られるようにせざるを
得ないわけ。

森 子育てはどうするんですか？

関口 フランスでは、子どもがいても女
の人が勤けるような勤務体制を作つてい
るんです。日本の体制で女性が働きに行
くのとはちょっと違います。

森 どんな勤務体制なんですか？

関口 フランスでは産休・育休後は半日
勤務ができます。午前中だけ、午後だけ
とか。日本では、フランスよりもっと細
かく勤務時間を親の介護などの事情に
応じて3分の1とか3分の2というよ
うに選択できるようになります。女性が
もつと働き続けられる社会になると思
います。

辻村 女性にとつてはいいですね！

関口 はい、ほと
んどの女性の方が

思
るなんですか？



「個人の仕事と生活を尊重して」関口氏

残っているのは母として、おばあちゃんとしての役割。今一番大事なのは私自身です。

辻村 外で働く女性と、家事や育児をする専業主婦。二つの生き方については日本での働き方は、仕事だけ、家事だけといふように一つのこととに熱中しろという。仕事と家事や育児を両立するための負担を全部個人にもつてくるんですよ。「働け、働け」と口でいうのではなくて、働ける体制を作らないとだめです。

森 そのためには何が必要でしょう?

辻村 他の人の子育てを手伝う、そういう生き方もいいですね!

関口 子どもを立派な一人前に育てあげたら、それは非常に大きな能力です。会社で業績を上げる仕事よりも、立派に子どもを一人前に育てあげる方がずっと大事というのが私の意見です。

森 働く女性については、例えば管理職になると国内あるいは海外に転勤しなくてはいけないので、女性が管理職に就くと単身赴任はどうしても嫌だという人が多いのが現状です。

辻村 確かに、保育所がもつとあればみんなが働きやすくなります。もう両親も夫も亡くなりましたから、私の娘としての部分と妻の役割は終わりました。私に今

人生における役割に応じて

関口

ところで、私は人生にはおののの役割があると考えています。

森 おののの役割というのは?

関口 私を例にしますと、「一番最初は子

ども、その後結婚して妻になり、母にな

り、今はおばあちゃんになって、その間

に調停員の仕事をしました。子どもが生

まれたときは母親の部分が強いですが、

子どもが成長するにしたがって比重の置き方が変わってきます。もう両親も夫も亡くなりましたから、私の娘としての部

分と妻の役割は終わりました。私に今

関口 みんなが妻としての役割、お母さ



それが自宅から通える範囲内の勤務地になるそうですよ。会社も、会社の利益だけを考えるのではなくて、個人の仕事や生活を考慮した体制を整えるのは当然のことだと思います。

子育てや介護は誰がする？

辻村 フランス人の結婚観はどういうものなんですか？

関口 フランスは結婚している人が少ないんですよ。シングルではなく、一緒に住んでいるけれども結婚していない。

森 でも、人口はそれほど減っていないんですね？

関口 フランスは未婚であれ既婚であれ、子どもを一人産んだら補助がたくさんつくんですよ。保育所にもちろんと入れるようになっている。誰も個人の生活を犠牲にして産んでいるわけじゃない。これは制度の問題なんですよ。

森 最近、日本では若い人は結婚にも異性にも興味がないという人が増えていて、このままでは人口が減つて困ることになりそうです。

関口 先日、非正規雇用は3年経つたら変えられるという法律ができましたね。

非正規雇用に一度なつてしまつたらずつと非正規のまま。自分一人でも精一杯の生活だから結婚できないですよ。国民の何割が非正規になつているんですか。人口が増えて国民が楽に生活できることと同時に、各個人が自分を犠牲にする

ことなく、みんなが親であり妻であり子どもである部分を充実させながら仕事をしたり子育てできる社会でなければいけないと私は思います。それは個人の力ではできません。

辻村 フランスでは舅や姑と同居するという

ことはないんですか？

関口 ないです。子どもにも面倒をみさせようという意識がないみたいです。

森 北欧三ヶ国の終末

介護を見学に行つたことがあります。北欧は消費税が25%だから、老齢になつての治療や

介護は国が全面的に面倒をみてくれる

んです。終末期の介護施設はすばらしい

もので、みなさんニコニコ暮らしておられました。日本では法律的な制限があり、それだけの費用の負担ができない

から、介護施設をつくるよりも家族で子どもたちが面倒を見る方向に話が進んでいくようですが…。

関口 政府が個人の負担ができるだけ軽くするような形にするべきですよ。

森 なぜ日本では子どもが親の面倒をみるのは当然という考えになるのでしょうか？

自分の人生を輝かせる



戦後を生き抜き、経済大国の礎を築いた世代に脱帽

辻村 フランスでは子育ても老後の介護も体制が整っているから、女性もみんな働けるんですね。

閔口 そうなんですよ。安倍首相が言うようにみんなが活躍する社会にしようとしたら、そういう体制を組んでくれたらできるんです。でも、体制を組んで「もっと我慢して働け!」じゃいけない

んです。みんなが人間らしく楽に仕事をしたり子育てや介護ができるような体制に国がする。そして、家庭を守つている女性もきちんと評価して欲しいです。

辻村 自分が苦しくならない、自分が犠牲にならない、そして自分の能力を發揮できる人生…いいですね。制度の整備とともに、自分がどういう風に生きていきたいか、お金のことも含めて見通しをもつておく。男性も女性もそういう人生

閔口 そうだと思います。

森 今日は女性の視点からのお話を聞きしてたいへん参考になりました。ありがとうございました。

一生を 樂いく 閔口一志

●せきぐちかずえ＝1937年大阪府生まれ。幼稚園から小学2年生頃まで中国の天津に住む。終戦後帰国し、父の実家、長浜の細江に一年程世話になる。後、大阪に移り、1956年に大阪大学法学部に入学、1961年卒業。1965年、結婚のためフランスへ。フランスの国立研究所で研究生活を送る夫と共に30年間、パリ南郊外のブール・ラ・レーヌで暮らす。1994年、大阪家庭裁判所の調停委員になり、2008年9月の退職まで勤める。

●森代表のプロフィールは18ページ

ヒラタケ

三山 元暎



さし絵:中川 善雄

ヒラタケをいただいた。
春から晩秋にかけて、ときには雪の中や春先にも発生するきのこである。ブナ、ミズナラなどの広葉樹の倒木、切り株、立ち枯れた木の幹などに株状になつて出る。代表的な食用きのこととして栽培も盛んで、「〇〇シメジ」の名で広く市販されている。でも、天然きのこは魅力に満ちている。

いたいたいたヒラタケを焼いて、急性脳症を疑う事例が発生し、農林水産省は食べないように注意を呼び掛けている。昔は好んで食べていたけれど、いくらきのこあえものによく合う。これで

ヤツデがまるで線香花火のような小さな白い炎をひとつそり燃えあがらせ咲いている。ビワの花も、もの静かに咲いている。湖北の山々が白い衣に覆われはじめた先日、知人から雪の中から採つたという

ヒラタケをいただいた。

春から晩秋にかけて、ときには雪の中や春先

にも発生するきのこである。ブナ、ミズナラなどの広葉樹の倒木、切り株、立ち枯れた木の幹などに株状になつて出る。代表的な食用きのこととして栽培も盛んで、「〇〇シメジ」の名で広く市販されている。でも、天然きのこは魅力に満ちている。

ところが、急 性 脳 症 を 疑 う
●みやま もとあき||1940年滋賀県坂田郡山東町(現・米原市)生まれ。長浜市の理事・経済部長を経て1995年8月から2005年2月まで山東町長。同月14日米原市との合併にともない退任。

はヒラタケ本来の味はわかりにくい。弱火でじっくり焼いて淡白な味を濃縮して味わつた。アツアツに、すだちをかけて、醤油味で食べると実に旨い。思いのほか歯ざわりもなく、栽培ヒラタケでは、この旨味は出ない一品である。

半日は行方不明の

きのこ採り 山崎佳子

三山 元暎

●なかがわ よしお||1930年生まれ。滋賀県展、長浜市展、伊吹を描く絵画展など入賞、入選歴多数あり。税理士。

気になれない。心配しながら食べても、決して美味しく食べられないのだから。師走になると、きのこの季節を閉じ、日々はつるべ落としの西日のように暮れて行く。故郷の山しづかなる

師走かな

吉田冬葉

中川 善雄

なかがわ よしお||1930年生まれ。滋賀県展、長浜市展、伊吹を描く絵画展など入賞、入選歴多数あり。税理士。



Nadeshiko Farmers

なでしこファーマーズ

食hana咲かそう! ～食について話す交流会～⑦

- 日時 2015年9月30日(水)13:30～16:00
- 場所 西の湖すて一しょん(近江八幡市)
- 講師 高木 敏弘氏(株式会社東洋商会)
高木 あゆみ氏・村西 栄子氏(shop Madre)
- 参加 16名



「農村好きの“女子力”が日本の農業を変える!」高木敏弘さん

東洋商会の代表取締役・高木敏弘さんからは同社の農産加工への取り組みや製粉機の開発・販売に至る背景をお聞きしました。1980年の転作大豆の手づくり味噌加工機器への取り組みに始まり、2003年には自家製粉対応小型米粉製粉機を開発。自家製粉米粉食品加工へと事業を展開され「地産地消」「安全安心」をコンセプトに米粉を使った米粉パン、米麺、米粉スイーツなどを製造するノウハウを研究されました。「小麦の代替品では

なでしこファーマーズが主催する“食について話す交流会”。今年は「次世代につなぐ」をテーマに開催します。今年度1回目(通算7回目)は近江八幡市安土町にて農産加工機器を販売する東洋商会さんとその直営店舗で米粉スイーツ等を製造・販売する「shop Madre」から「米粉と未来」についてお話しいただきました。



なべ、お米が主役、お米の特徴を生かした自家製粉と各種米粉食品加工を通じてお米の素晴らしい力を消費者に知つていただき、「国産米の消費拡大を目指したい」とこの強く想いを伺いました。

そんな想いは「shopMadre」で

実践されていました。高木さんの娘であるあゆみさん含む4名で運営される「shopMadre」では、自家製粉のお米のおやつを中心として、東洋商会が手掛けた農産加工品などを販売しています。グルテンフリーの米粉のおやつは、アレルギーの方に限りらずダイエット法の一つとしても人気が高まっています。タルト、パン、チヂミ、「菜ばカリーライス」など、こねねえどり開発しました。

おやつタイムでは10種類の米粉おやつプレートが振る舞われ、参加者は小麦粉や卵、バターを使った洋菓子と遼色ない味を堪能しました。

その後の交流会では米粉の可能性について活発な意見交換が行われ、閉会後には「shopMadre」に移動して



米粉ヴィーガンスイーツが10品目も!



「米粉の可能性は∞(無限大)」と話す高木あゆみさん④
村西栄子さん⑤

買い物を楽しむ参加者の姿もあり、有意義な時間を過ごしました。

次回は
食hana咲かそう!
～食について話す交流会～⑨
《次世代につなぐ》伝統野菜と加工
の開催を予定しています

開催時期: 2月21日(日)

情報は決定次第、facebookページ
「なでしこ滋賀ネット」で公開します。
<https://www.facebook.com/nadeshiko.farmer.shiga>

○株式会社東洋商会・ショットマドレ
滋賀県近江八幡市安土町上豊浦
1307-11
TEL: 0748-46-2150
<http://www.shop-madre.com/>





ドイツ林業は日本で活かせる（写真提供：長浜市森林整備課）

M・O・Hレポート

ドイツフォレスターインポジウム

山元 周吾

- 日時 2015年10月22日(木)
13:00~16:30
- 場所 ヤンマーミュージアム
(長浜市)
- 参加 約100名
- 主催 長浜市

本誌でおなじみの、ドイツ在住の原修子さんが長浜のシンポジウムに通訳として帰国された。「ドイツの林業は成長しているのよ」それは学ばなくては。同じく通訳としてフォレスターと同行された山元氏に案内いただこう。

 森林経営から木材販売まで

10月22日に長浜市主催で「ドイツフォレスターインポジウム」がヤンマーミュージアムにおいて開催されました。これは、姉妹都市であるアウグスブルク市から森林官（フォレスター）2名が長浜市を訪問し、5日間の行程で林業・木材産業の現場視察を通して、専門的知識と技術の交流促進を図るもののです。フォレスター

Nachhaltigkeit (ナッハハルティヒカイト) とは、ドイツ語で「持続性」を意味します。今から300年前に、持続可能な森林管理を目指す「ドイツで生まれた言葉です。持続可能な森林管理とは、森林がもつ経済的、環境的、社会的機能の発揮が調和している状態を表現しています。三つの機能が調和していようと、それをDreiklang (ドライクリング) 「三和音」と呼び、森林管理の基本理念としてドイツ林業に浸透しつつあります。このような理念を背景に森林経営が現在も実践され、産業として成立しているドイツ林業は、近年日本でも注目されています。

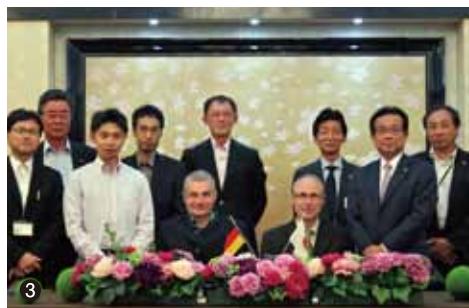
Nachhaltigkeit (ナッハハルティヒカイト) とは、ドイツ語で「持続性」を意味します。今から300年前に、持続可能な森林管理を目指す「ドイツで生まれた言葉です。持続可能な森林管理とは、森林がもつ経済的、環境的、社会的機能の発揮が調和している状態を表現しています。三つの機能が調和していようと、それをDreiklang (ドライクリング) 「三和音」と呼び、森林管理の基本理念としてドイツ林業に浸透しつつあります。このような理念を背景に森林経営が現在も実践され、産業として成立しているドイツ林業は、近年日本でも注目されています。



とは、公務員という立場で森林経営の計画から木材販売先の確保まで、森林管理全般に携わる重要な役職です。今回、ドイツのフォレスターの目から見た長浜市の森林を私達自身が感じ取ることが最大のねらいです。

幼木が少ない、次世代育成を！

シンポジウムでは、木材価格が低迷する中で製材工場はどう向かうべきか等、林業の経済的側面が主な話題となりました。また、現地視察中には、校外学習として地元住民と林業を体験する小学生に出会いましたが、森林に関する積極的な子ども達への教育があるということは大変高く評価されました。一方で、架線系集材が可能な環境づくりと人材育成や、構築されたノウハウを活かした上で安全面の充実、災害リスクを考慮した森づくり等、課題がいくつか挙げられました。特に、「美しい森はあるが、幼木が少ない。次世代の育成はなによりも重要なことだ」は繰り返し述べられたことです。これは林業の担い手育成にも言えることです。その



①林業関係者と谷口林業地で現地視察 ②森林教育を受ける子どもたちと記念写真 ③長浜市長と歓迎セレブションにて（写真提供：長浜市森林整備課）



ために私達が今しなければいけないことはなにか。どうすれば三和音が綺麗に調和するのか。投資なき森に未来はありません。

学び実践

今回のフォレスター招聘は姉妹都市というかけがえのない繋がりから生まれた素晴らしい一步であり、より大きな成果に結び付けるためには今後も継続した交流が必要です。

山元周吾 森の三和音を求めて

やまもと しゅうご 滋賀県出身。滋賀県立大学、アウグスブルク大学を経て株式会社自然産業研究所入社。現在、ミュンヘン工科大学に所属する一方で欧洲圏に関わる仕事に従事している。専門は林業経済学、環境システム工学。ミュンヘン在住。



湖北の再生可能エネルギー関連施設見学会

辻 博子

- 日時 2015年11月18日(水)13:00~16:30
- 場所 いぶきグリーンエナジー株式会社(米原市)
山室木材工業株式会社(長浜市)
湖北みずどりステーション(長浜市)
小水力発電施設(長浜市)
- 参加 21名
- 主催 地域エネルギー研究会

滋賀県で1丁目1番地の政策に位置づけられている再生可能エネルギーの普及促進。ちょっとのぞいてみましょうか。

滋賀グリーン購入ネットワーク関係者と近江環人卒業生の有志でつくる「地域エネルギー研究会」では、創エネ・省エネに関する情報提供と参加者の交流を図ることを目的として研修会や見学会を開催しています。紅葉の美しい11月半ば、NPO法人環人ネットより助成をいただき、湖北の再生可能エネルギー関連施設を訪ねる見学会を開催しました。

初めに、今春稼働した滋賀県内初の木質バイオマス発電施設のあるヤマムログループのいぶきグリーンエナジー株式会社を訪ねました。ヤマムログループでは、木質廃棄物のリサイクル事業を進めってきた経験を活かし、エネルギー供給と木材のリサイクルを両立させ、CO₂排出削減、エネルギーの自給率アップに貢献しようと、この発電所を立ち上げられました。解体廃材や間伐材を燃料とする発電所の最大出力は3550キロワット。米原市の全世帯の半分以上の電力量を賄える計算になるといつことでした。続いて長浜市石田町に移動し、山室木材工業の「木質温室ハウス」を見学しました。地域材を使って建てられた木質の

ビールハウスで、雪深い湖北でありますから南国フルーツのマンゴーが栽培されています。木のぬくもりが景観にも配慮していると感じられるこの温室は、熱源に自社工場で製造した木質チップを燃料とするバイオマスボイラーを用いています。老朽化しても柱材を熱源利用することができですから、熱源も建物本体もカーボンニュートラルです。本業の木質リサイクル事業を無駄なく多角的に広げられている好事例であると言えるでしょう。

その後、長浜市湖北町の「湖北みずどりステーション」でソーラーシェアリング(4キロワット)の現場を見学しました。狭い敷地を農地と発電の両方に活かせるといふことは非常に有意義ですが、関係者によれば、農地で発電すると新しい試みを開始するには多くの障害があつたようでした。パネルの下は半日陰となり、ブロックコーリーのような高温障害に弱い野菜はかえって良品が採れるということです。これから農地のあり方を考える上で良い事例となるでしょう。

最後に、長浜市高月町の小水力発電所





①いぶきグリーンエナジー取締役発電部長 清水国行氏の講演 ②バイオマス発電施設 ③木質温室ハウスには光成マンゴーが ④湖北みずどりステーションのソーラーシェアリング ⑤高月町の農業用水路に設置された小水力発電設備

を見学しました。大阪ガス100%子会社のエナジーバンクジャパンが、日立キャピタルと共に、湖北土地改良区が管理する中央幹線用水路に、15キロワットおよび10キロワットの流水式小水力発電設備を設置しています。100キロワット以下の小水力発電において、民間事業者が固定価格買取制度を利用して事業を行うのは国内初の取り組みだそうです。幅2メートルほどの農業用水路の小さな落差でありますながら勢いよくタービンが回る様は、見ていて爽快でした。

移動途中のバスの中では、滋賀県エネルギー政策課より、今日の見学先施設に関する情報提供や滋賀県のエネルギー政策に関する説明をお願いし、企業、市民団体、行政といった様々なセクターからの参加者の熱心な質問にもご対応いただきました。

滋賀県では平成25年3月に『滋賀県再生可能エネルギー振興戦略プラン』を策定し、同プランに基づき各種の取組が進められていますが、新しいエネルギー社会の実現に向けて、現在、長期的かつ総合的なエネルギー政策を推進するための

指針となる『しがエネルギービジョン』の策定（本年度中に策定予定）に向けて検討がされているところであり、今後の展開に期待が高まります。地域エネルギー研究会では、これらの進捗状況や県内外の先進事例について引き続き情報提供を行い、エネルギーの地産地消について考えていくきます。

チャレンジ精神! 志すに!

辻 博子

つじひろこ 新潟県生まれ、滋賀県在住。2001年より滋賀GPN事務局勤務、2013年より事務局長。環境をキーワードに頑張っている人や企業をつなげるのが最近のテーマ。滋賀県立大学大学院環境科学研究科修士課程卒業、環境省環境力ウンセラ、滋賀県環境審議会委員、近江環人、NPO法人環人ネット理事、環境八プラズ理事、他。

○一般社団法人滋賀グリーン購入ネットワーク（滋賀GPN）事務局
滋賀県大津市松本1-2-1 大津合同
庁舎6階
TEL: 077-510-3585
Mail: sgn@oregano.ocn.ne.jp
<http://www.shigagpn.gr.jp/>



美の滋賀 ふるさと深い学び塾

主催 NPO法人 環人ネット



海津の石積みに立つ、絶好の撮影日和。対岸もくつきりと

第1回「風景とくらし」

- 日時 2015年10月18日(日)
10:30~16:00
- 場所 高島市マキノ町
- 講師 濱崎一志氏
(滋賀県立大学理事・副学長)
- レポーター 小野千穂氏
- 参加 23名

旅。滋賀には、それぞれの「ふるさと」で連綿と営み続けられてきた暮らしや文化、歴史の「美」がちりばめられています。この講では県内の各地域にスポットをあて、滋賀の「深い美」を五感で学びます（全四回講座）。前身は「美の滋賀語り部マイ★スター」です。

第一回 「風景とくらし」 マキノ

滋賀県高島市マキノ町を訪れました。滋賀県立大学理事・副学長の濱崎一志さんを講師にお招きし、マキノの海津・西浜・

聞いて、見て、ふれて、たべて。「ほんまもん」を感じ・考える旅。滋賀には、それぞねの「ふるさと」で連綿と営み続けられてきた暮らしや文化、歴史の「美」がちりばめられています。この講では県内の各地域にスポットをあて、滋賀の「深い美」を五感で学びます（全四回講座）。前身は「美の滋賀語り部マイ★スター」です。

お昼に湖魚民宿「吉平」さんで琵琶湖の湖魚を堪能した後は地域散策へ。雑木林の中をぐんぐん進むと「やまおやじ」と呼ばれるクヌギの古木たちが現れました。過去には薪づくりに今はシイタケ栽培の為に、伐採と成長を何年も何年も繰り返し、じつじつと太っている木を見て、写真家の今森光彦さんが名づけたそう。人の営みの歴史を感じられました。

聞いて、見て、ふれて、たべて。「ほんまもん」を感じ・考える旅。滋賀には、それぞねの「ふるさと」で連綿と営み続けられてきた暮らしや文化、歴史の「美」がちりばめられています。この講では県内の各地域にスポットをあて、滋賀の「深い美」を五感で学びます（全四回講座）。前身は「美の滋賀語り部マイ★スター」です。

今回初の試みとなるのは、インターネットラジオでの動画配信。「ええラジオ」パーソナリティの豊パパ活こと豊田一美さんと、レポーターの小野千穂さんがイベントの様子を随时レポートし、編集したものを「ええラジオ (<http://a-radio.jp/>)」で配信し、どなたでもご覧いただけるしくみです（レポーターの方は毎回変わります）。

まずは、知内会館にて濱崎先生から「文化的景観」について教えて頂きました。





①「風景に宿る歴史とくらし」濱崎氏 ②フナズシ、ビワマス、モコロ湖魚料理 ③やまおやじのいる雑木林でマキノ自然観察倶楽部のメンバーが解説 ④文化的景観の中で記念撮影

景観の継承はなかなか難しい……と瀬崎氏。今ある文化を活かして、た生業、風土や人の生業が景観をつくっていきます。守つていく為には、どんどん地域の中に入らないと、との課題が挙げられ、参加者が真剣な様子でした。

町海津地域では、民家と民家の間に“ズシ”と呼ばれる琵琶湖に続く細い道があります。昔の人はこの“ズシ”を通つて琵琶湖へ洗濯や野菜洗いに来ていたそうです。

長浜市木之本町の観音様を訪ねました。講師は滋賀県立琵琶湖文化館の井上ひみわさん。レポーターはケイミー板山きよ美さんです。

まやせ料亭ゆし慶さんにして井上さんから、湖国の観音文化と地域の人々の暮らしと信仰についてお話を聞きました。街道文化や渡来系の文化、口高山の仏教など、地形的なものも影響し、観音文化が形成されてきたところのお話には参加者も興味津々でした。

すし慶さんで「鯖の棒すし」をはじめとするお料理を味わった後、医王寺、黒田観音寺、安念寺の観音様をお参りさせていただきました。「地域の人々がお守りされてきた観音様を拝ませてもらえたことは本当にありがたいこと。扉が開き、観音様と対面する瞬間は胸が高まります」と井上さん。それぞれの観音様についての所以や歴史をお聞きしました。

ふりかえりトークは古民家を利用した古書との出会いの場「あいたく

第二回「信仰とくらし」木之本





予告

<第4回 文化とくらし>

- 日時 2016年1月31日 (日)
9:40~16:00
- 場所 近江八幡市沖島
- 講師 大沼芳幸氏 (滋賀県文化財保護協会)
- レポーター 宇野 ひと美さん
- 見どころ 淡水の湖で人が暮らす世界でも珍しい島。大海原の航路を護る二柱の女神が鎮座する謎の島。
- 締切 1月26日

<まとめ 報告交流会>

- 日時 2016年2月6日 (土)
10:30~16:00
- 場所 滋賀県立近代美術館講堂
- 共催 滋賀県文化振興課
- 講師 中井均氏 (滋賀県立大学教授)
- 見どころ 風景とくらしマキノ、信仰とくらし木之本、水とくらし大津、文化とくらし沖島、全4回のレポート映像ほか。
- 締切 2月2日

申込み・問合せ

TEL : 090-4497-4074 (本田)

Mail : kaorm.nm@gmail.com

第2回「信仰とくらし」

- 日時 2015年11月15日 (日)
11:00~16:20
- 場所 長浜市木之本町
- 講師 井上ひろみ氏
(滋賀県立琵琶湖文化館)
- レポーター ケイミー板山きよ美氏
- 参加 31名



- ①「観音様と同じポーズを」井上氏
- ②いも観音様に感動の安念寺
- ③十一面觀音立像が美しい医王寺
- ④嚴かな佇まいの黒田觀音寺
- ⑤余韻に浸って全員でほっこりした、あいたくて書房

第三回「水とくらし」 大津

2015年12月6日
大津市で開催しました。
この模様は51号でレポートします。お楽しみに。

て書房」さんへ。手作りのシフォンケーキをいただきながら、それぞれの感想を述べました。地域で守り継がれた文化に触れた一日となりました。



本の紹介

最近入手した、気になる本・CD・DVDをご紹介します。

BOOKS

動物のいのちをきこえる

動物のいのちをきこえる

人間とは、なんと身勝手な「いきもの」なのかな…

滋賀の絶景2016カレンダー～祈りと暮らしの水遺産～



企画／しがトコ
販売元／プラスエイチ・ワーカス
発行日／2015年10月15日
価格／1,720円（税込）
内容／新しい滋賀を伝える
ローカルプロジェクト「しがトコ」から誕生したカレンダー。表紙写真は「しがトコ」Webサイトでのファン投票で決定。壁掛けと卓上の2種類から選べる。

野菜ソムリエといつ、人を育てる仕事



編著／高槻成紀
発行／朔北社
価格／2,200円+税
内容／大学研究者、雑誌記者、動物園長などが動物のいのちについて綴る。

障害のある子どもの放課後活動ハンドブック



編集／障害のある子どもの放課後保障全国連絡会
発行／かもがわ出版
価格／600円+税
内容／野菜に人生の全てを賭けた男の生き様と信念がここに。

21世紀文明の岐路とエネルギー選択



著者／田村八洲夫
発行／金融ブックス
価格／1,667円+税
内容／自然エネルギーとう向き合うべきかヒントを与えてくれる銘書。

やまおやじ



編著者／今森光彦
発行／小学館
価格／1,550円+税
内容／雑木林に静かにたたずむクヌギの古木が「やまおやじ」。やまおやじを中心とした小宇宙空間をすばらしく語る。



山草子日記

A black and white line drawing of a middle-aged man with a prominent mustache. He has short, dark hair and is wearing a simple, light-colored button-down shirt. His gaze is directed towards the right of the frame. Above his head is a speech bubble containing Japanese text.

今年10月、ミシガン州の
ペーストー市から「名の
方が「ロードアイラム」市に来

木立の川山。風景
とても気に入ってくれ
毎朝、毎夕。
サンボ、サンボ。

A cartoon illustration of a woman with short brown hair, wearing a white t-shirt, holding a small white dog in her arms. She is looking at a plate of food on a table in front of her. A speech bubble above her head says "GOOD TASTE!" and another bubble next to the dog says "YUM". A third bubble to the right of the dog says "YUM YUM".

日本食にもトライ!
まずはふたばずし。
GOOD
心にほんしゃく
これは沖島の久人
おきしまのひさと
送ってくれた。沖島産
おきしまさん

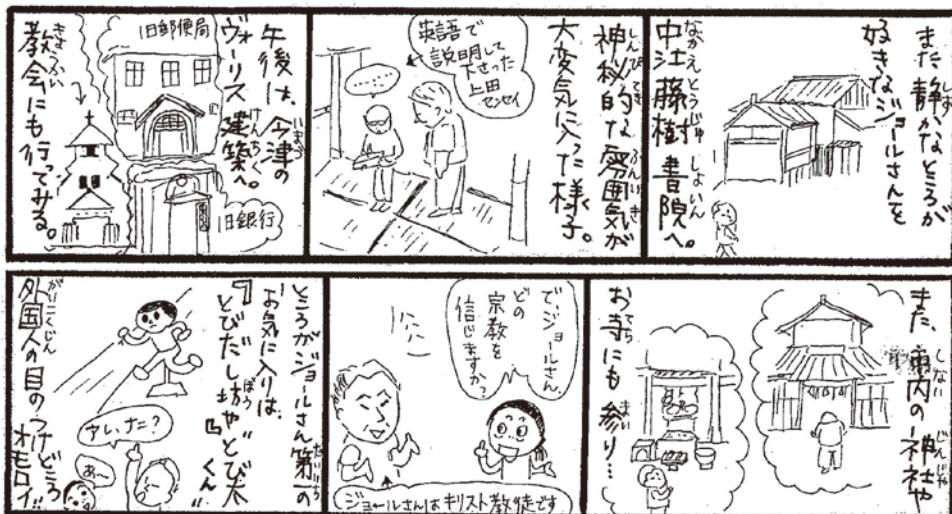
言已
國際
交流編
作:村崎

A cartoon illustration of a speech bubble containing Japanese text and food-related drawings. The text inside the bubble reads:

「これは：？？？」
「肉じゃが」「トマトカレー」
「うどん」「ラーメン」「ギョウザ」
「ひたすらトライする！」

The bubble contains drawings of various Japanese dishes: a bowl of udon, a bowl of ramen, a plate of gyoza dumplings, a bowl of tonkatsu (meat and potato) stew, and a bowl of tomato curry.

近江の赤いんじ粉
おせわけに
買って
あられまし



ミシガン州ペトスキー市と旧高島郡マキノ町は、1976年に姉妹都市提携を結び、2005年の町村合併後も高島市との交流は続いています。このたび高島市国際協会を通じて、我が家で初めて受け入れに挑戦しました。

英語があまりしゃべれない私は、3泊もアメリカの方と過ごせるかどうか不安でしたが、ジョールさんはとても紳士的でスティキな方だったので安心しました。木地山の静けさ、環境、木の香りのする我が家をとても気に入ってくれ、英語が全くダメな主人とも単語で会話。「セイゴ(主人)は英語が喋れない。ボクは日本語が喋れなあ。」

● 本名 加藤みゆき。人口17人の集落に住み3人の子育てに奮闘

オーミュキ 今号のひとこと

「異文化交流に必要なのは心が第一。言葉はその次でいいなあ。」

(滋賀のええもんを食べてもらつて心が通じ合つた気がする私。) 中。将来、家族で海外へ旅行するのが夢。

ない。でもボクたちは会話ができるよ。」と言つてくれました。また、あちらこちらに連れていき、いろいろな日本人に会つてもらいました。あるお宅では、抹茶をたてさせてもらつたり、炭焼きの会のおじさんには炭窯を見せてもらつたり、炭焼きの説明を聞きました。お寺では囲炉裏でお餅を焼いて、薬草茶と楽しみました。ジョールさんと一緒に過ごしたことで、私も様々な日本文化に触れられました。中でも、鮓寿司クラッカーのおいしさと、とび太くんグッズが販売されていることは、まさに新発見でした!

松代大本營地下壕にて

今関 信子



イラスト：千田 満

敗戦後70年の節目の年、2015年9月13日、私は、信州松代を訪れました。わずかに秋を感じさせる風に、赤紫のコスモスが揺れています。私は、松代大本營地下壕を、見ようとしていました。

観光バスでやつてきた一団が、地下壕の入り口でヘルメットを着け、どうやらと中へ入つて行きました。

この地下壕は、アジア・太平洋戦争の敗戦の色が濃くなつた日本軍が、本土決戦の最後の砦にしようと造つたものです。松代の皆神山、象山、舞鶴の三つ山の山腹をくりぬいて、皇居、大本營、政府機関や放送局まで、ここに移す計画で、敵に対しても国民に対しても、秘密の大工事でした。

1944年11月11日11時、爆発音で始まつた地下壕掘りの工事には、家族から引き離され、日本に連れてこられ、暗い地下の穴掘りに従事させられた、強制連行の朝鮮人労働者が、7,8千人におよんだといいます。

地下壕をゆっくり歩きながら、この史実を教えてくれるのは、信州在住の



児童文学者・和田登さんです。和田さんは、1936年、長野県に生まれました。

彼は、ある日、上田市の本屋で、朴慶植さんの労作、「朝鮮人強制連行の記録」を見つけます。そこには、「象山から舞鶴山、皆神山にかけ、ゴバンの目にほりぬかれた地下壕十余キロの土木工事で、ここに数千名の同胞が連行され西松組に組みいれられ、憲兵監視のもとで働かされた。このうち機密の箇所をほつたという同胞数百名は工事がほぼ完了した際、どこに連れられたのか、行方不明のままであります。これは当時軍部支配層の機密隠ぺいのための同胞虐殺と伝えられています。」ショッキンな記述。和田さんも研究者たちも、解明に努力しました。が、裏付けられる証拠はないのです。このことも含めて、和田さんは、寺々を歩き、火葬場を訪ね、証言を集めました。ねばり強い取材から、ノンフィクション「悲しみの砦」をまとめ、その後に、朝鮮の兄弟の側に視点を置いて、「キムの十字架」と

いう作品を書いています。
観光バスで訪れた人たちが出ていくと、壕の奥はしーんとして静かでした。

私は、ダイナマイトで爆破した岩の山を堀り崩し、トロッコに積み上げて、壕の外へ運び出す若者達を想像しました。闇の中に、人間扱いされない汗まみれの顔が見える気がしました。

壕には点々と弱い灯がともっています。その灯は、何年か前、中国河北省北坦村で、地道に潜った日を思い出させました。地図から消された秘密の大久野島で作った毒ガスを、日本軍が流し込んだ地道です。敵にも日本国民にも、秘密で製造した毒ガスでした。

地下。秘密の行為。ここには、闇がしのんでいます。世界の一等国になりたい、その野望は、闇の中で立ちあがつたのでしよう。

地下壕を出ると、晴れた空の下に咲くコスモスは、ことのほかやさしく美しく見えました。

せんだみつる=1935年、滋賀県生まれ。大阪のデザイン会社を経て1980年「イラストレーションスタジオアビーロード」設立。イラストレーションを中心に行スター・ヤパンフレット等を制作、ロゴマークやパース・キャラクター・デザイン等グラフィック全般、広告・エディトリアルを中心活動中。

● いませき のぶこ=1942年、東京生まれ。東京保育女子学院卒業後、幼稚園教諭となる。7年間保育者として働いた後、創作活動に。日本児童文学者協会理事。
〔主な著書〕『小犬の裁判はじめます』1987童心社 青少年読書感想文「コンクール課題図書」『さよならの日のねずみ花火』1995国士社 青少年読書感想文「コンクール課題図書」厚生省中央児童福祉審議会推薦文化財。「地雷の村で『寺子屋づくり』」2003年HP研究所など多数。

今聞える
おじさん



森にふれて

原 修子

「鳴子がね」と、困ったような、でも嬉しそうでそして少し誇りにも思つてしるような表情で友人が言つ。

「何かあつたの?」と、私。

「赤ずきんちゃんの話をわかるだろ? う? そうすると最後のところで狼さんがかわいそつだつて泣くんだよ。怒るんだよ。だからいつもハッピーエンドに話を変えなければいけないんだ」

「良いなあ、それ」と嬉しくなつてしまつた私。三十年近い昔の話

森という言葉を聞いて、人々は何を思い浮かべるのであらうか?

私にとっての森は木々がはえ繁る奥深い平地。動物さん達の生活の場。恐怖と同時に畏敬の念を抱かせるところ。そして昔話や童話、民謡の舞台になつてゐるところ。それだけではなく、人々に生活としての必要な資源としての木を提供してくれてゐる。全ての面で大切な宝庫。もしかして魔女が、妖精、そしてコーボルトが住んでいるかもしない場所としても。

しかしこれはあくまでも森に深く関わるものともなく、この現代に都会

に住んでゐる私の思い、想像の世界で存在する森にしかすぎない。

10月後半に長浜で森林業関係の通訳の仕事をする機会をうそり、いろいろ教えていただき、そしてまたいろいろと考えさせられた。

長浜でお会いした関係者の方々は、「森」へ行く時、「山」へ行くとおしゃつてじた。ドイツでもアルプス山岳地方では、「森」へ行くと「山」へ行くと謂う林業者もいるらしいと、後になつて聞いた。「森」を平坦地にあるものとして理解していた私が今は出てこない発想、言葉、生活に密着した言葉である。

野生の動物による被害についてもお話を伺つた。

ドイツも「鹿」被害、「猪」被害の問題を抱えている。ことに「猪」は林業分野においてだけではなく、都市にも出没する。有名なのはベルリンである。一時大きく取り上げられた日光の「猿被害」まではいっていなかもしれないが、家庭菜園を荒らし、夜中のみなづす田中にも姿を見せるように



なった猪がニュースに取り上げられたりしている。「熊」による被害は、ドイツには無い。理由は簡単。1835年に絶滅させてしまったから。いや、例外が一つだけあった。それはイタリアからオーストリア、ドイツのアルプス山岳地帯へと越境してきてブルーノと名付けられたヒグマ。ブルーノは人間に対しては全く攻撃的ではなく、散歩している人々と出会つたり、あるいは彼を追いかけた人々を傷つける事もしなかつた。捕獲して送りかえそうと大規模な活動が展開されたが、羊の群れを襲つたりしたので、「問題熊」という人間が決めたカテゴリーに適合するということで、2006年6月26日に射殺された。

何時から人間がある動物について、種として、あるいは個体としてに関わらず生きるに価する、あるいは価しないと決めるようになつてしまつた、あるいは決めても良いと信じるようになつてしまつたのだろか？

私の想像する森は、現代の都市に住んでいるからできるものなのであ

りしている。「熊」による被害は、ドイツには無い。理由は簡単。1835年に絶滅させてしまつたから。いや、例外が一つだけあった。それはイタリアからオーストリア、ドイツのアルプス山岳地帯へと越境してきてブルーノと名付けられたヒグマ。ブルーノは人間に対しては全く攻撃的ではなく、散歩している人々と出会つたり、あるいは彼を追いかけた人々を傷つける事もしなかつた。捕獲して送りかえそうと大規模な活動が展開されたが、羊の群れを襲つたりしたので、「問題熊」という人間が決めたカテゴリーに適合するということで、2006年6月26日に射殺された。

何時から人間がある動物について、種として、あるいは個体としてに関わらず生きるに価する、あるいは価しないと決めるようになつてしまつた、あるいは決めても良いと信じるようになつてしまつたのだろか？

私の想像する森は、現代の都市に住んでいるからできるものなのであ

りつ。
しかし森は人間を襲うもの、絶対に人間とは共存できないものとして野生の動物が棲息する場所として人間に捉えられていたのではないだろうか？
そしてまたそこは人間の枠を超えた魔のものが住む世界としても。それを伝えてくれているのが「赤ずきんちゃん」や「ベンゼルとグレー・テル」のような童話ではないであろうか？
勿論例外もある。「山」を「森」と解釈すると、長浜市にも関係があるといわれる足柄山の金太郎さん。

その対極にあると言えるのかもしれないのが、狼かもしれない。
日本狼はときおり生態説が出てくるものの、1905年に絶滅したとされている。ドイツでも現在のドイツ領では1902年に野生の狼の最後の一頭が射殺されたと記録されている。このようにドイツでは狼も熊と同じように絶滅されてしまつた。しかし熊と違い「三歳の娘が狼さんがかわいそつと嫌がつて、我が家では赤ずきんちゃんはタブーなんだ」

ここに万物の長としての人間ではなく、万物と共存しようという人間のあり方、人間の都合である動物を悪者にしたくないと泣いて抵抗した友人の息子の思いに通じるものを感じる。そう言えばつい最近次のような事を言つていた人がいた。

「三歳の娘が狼さんがかわいそつと嫌がつて、我が家では赤ずきんちゃんはタブーなんだ」

● ほり しゅうじ=徳島市出身。1972年よりドイツ、アウグスブルク市在住。國學院大学文学部哲学科及びアウグスブルク大学カトリック神学科卒業。職業、通訳、翻訳。

鳥
修
子



るが得られるようになつてきている。その背景には狼を愛し、狼の習性を研究し、そして人間が狼に対して抱いている偏見を少しづつ正してきた人々のための努力がある。

ここに万物の長としての人間ではなく、万物と共存しようという人間のあり方、人間の都合である動物を悪者にしたくないと泣いて抵抗した友人の息子の思いに通じるものを感じる。そう言えばつい最近次のような事を言つていた人がいた。

「三歳の娘が狼さんがかわいそつと嫌がつて、我が家では赤ずきんちゃんはタブーなんだ」

講演日記

2015年9月～
11月の講演をダ
イジェスト版で
お知らせします。

300年経営塾

- 日時：9月29日
- 場所：浜湖月
- 講師：森建司
- 演題：「中小企業が生きる道」



ついで活発な意見交換
の場となつた。

光王殿最勝寺講演

- 講師：森建司
- 演題：「M・O・Hの心で開く幸せの道」
- 参加：約80人
- 内容：新潟州本社から近い南浜地区での講演。

若い人とともに考え
たい心の大切さ、力強
く生きる幸せの道を
語った。

- 執筆者懇談会41
- 対象：会員
- 参加：約20人
- 内容：永遠に続く社会に責任を持つ。他の生物、自然との共生抑制。社会全体をつくり変えよう。持続可能な社会の実像を考え議論した。

南浜町黎明会講演

- 日時：10月2日
- 場所：旧大津公会堂、大津グリル
- 参加：11人
- 内容：50号の特集を決定。それらの立場から見る社会、考え方について



生き方探し公開講座

- 日時：11月8日
- 場所：最勝寺（大津市）
- 講師：森建司
- 演題：「もつといない・おかげさま・ほどほどに」

- 対象：一般
- 参加：約50人
- 内容：浄土真宗の「ほどほど」という思想が滋賀県には根付いている。競争社会から共生社会へ。80代も声を挙げよと力強く語った。

3周年記念イベント ブータンミーティング

- 日時：11月20日
- 場所：長浜ドーム宿泊研修館
- 講師：辻村琴美
- 演題：「あなたの『もつといない・おかげさま・ほどほどに』は？」



よばれやんせ湖北 フォーラム

- 日時：11月29日
- 場所：長浜バイオ大学
- 講師：森建司
- 演題：「地産地消で地域おこし～まず食がつづく」

- 対象：一般
- 参加：約50名
- 内容：食物の自給力がなければ持続可能な社会は生まれない。地元産のものを進んで購入し地元を応援しようとした。

民館
● 講師：森建司
● 演題：「M・O・Hの心で開く幸せの道」
● 参加：約80人

● 対象：一般
● 参加：9人

ジアム(福井市)
● 講師：森建司
● 演題：「持続可能社会をみんなで創ろう」
● 参加：約50人

● 対象：一般
● 参加：約50人



イベント紹介

ICEBA2016 プレイイベント

「田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト交流会・琵琶湖」

- 日時：2016年1月23日（土）13:00～17:00
- 場所：京都教育文化センター 1F（103号室）
京都市左京区聖護院川原町4-13
- テーマ：生物多様性に配慮した農業・田んぼについて考えよう！拡げよう！
- 主催：特定非営利活動法人ラムサール・ネットワーク日本
- 趣旨：常日頃さんが食べているお米を作っている田んぼは、お米をつくるだけでなく、様々な役割を担っています。今回の交流会では、田んぼでの生き物に着目し、特に琵琶湖周辺の田んぼを中心に活動する農家の方々を交え消費者の方々と有意義な交流を図っていきたいと考えます。
- プログラム：
 - ・基調講演「琵琶湖の生物多様性と農業（仮称）」びわこ成蹊スポーツ大学 学長 嘉田由紀子氏
 - ・パネルディスカッション ほか
- 申込み
申し込みフォーム
<https://goo.gl/G7jfiM>
締切：1月15日（金）
- 問合せ
NPO法人 ラムサール・ネットワーク日本 事務局
東京都台東区台東1-12-11 青木ビル3F

TEL/FAX : 03-3834-6566

Mail : info@ramnet-j.org

<http://www.ramnet-j.org/>

滋賀県立大学近江環人地域再生学座 プロジェクト

「日夏里館からあなたへ未来へのメッセージ」

- 日時：2016年1月23日（土）13:00～16:00
- 場所：日夏里館（ひかりかん）
滋賀県彦根市日夏町字海道ノ上2908-5
- 主催：日夏ヴォーリズ建築の会・日夏里館運営団体の会
- 協力：NPO法人 環人ネット、石井建築設計事務所
- 趣旨：朝鮮人街道沿いに建つ日夏里館は、ヴォーリズ建築事務所の設計で1935年竣工し、築80年になります。2013年3月、国の登録文化財となり、保存のための3期に及ぶ耐震改修工事が完了しました。これを記念し、見学会とフォーラムを開催します。普段見られないところも案内します。
- プログラム：
 - ・見学会
 - ・基調講演「ヴォーリズ建築旧日夏村役場の魅力」
滋賀県立大学 教授 濱崎一志氏
- 参加無料
- 問合せ
TEL : 090-3860-3018 (古川)

M・O・Hニュース

「観音の里 長浜」、

グレートレイクス国際映画祭に入選

新江州が企画に携わった「観音の里 長浜」のプロモーションビデオが、アメリカの「グレートレイクス国際映画祭」に入選しました。この映画祭は、世界で最も人気のある映画祭トップ100にも選ばれています。

●コンテスト名称

GREAT LAKES INTERNATIONAL FILM FESTIVAL 2015(グレートレイクス国際映画祭)
<http://greatlakesfilmfest.com/2015-film-selections/>

●出展作品

Life and Devotion in the Kannon villages
(Lake biwa , Nagahama) (観音の里の祈り

とくらし)

■「観音の里 長浜」

<http://kitabiwako.jp/kannon/>

よばれやんせ湖北メンバーがブース出展! 滋賀ビューティーフェア2015

2015年11月22日、美容室「Hirose Beetle（ひろせびーとる）」が主催する美の祭典「滋賀ビューティーフェア2015」が米原市の文化産業交流会館にて開催されました。

地域のものを食べて美と健康を大切にしたいという想いから会場ブースの一角には地産地消のコーナーも。よばれやんせ湖北メンバーからウッディバル余呂といぶきファームが出展され、参加者は買い物を楽しみました。



あきのさん家の

にこやか

©サトウユウコ



♪第9回 M・O・Hせんりゅう コンテスト 2015♪ ベスト3決定

皆様よりご応募いただいた「M・O・Hせんりゅう」の中から、今年もベスト3を選出しました! 編集部での1次選考、執筆者懇談会と社内での2次選考を経て、びわ湖環境ビジネスメッセ2015で選ばれたベスト3の発表です!

- 1位 感謝する ささいな事が 笑みのもと
(支持率24.6%)
- 2位 もったいない 滋賀のいいとこ 知らないの
(支持率21.4%)
- 3位 うしどしの 母に見せたい もう通信
(支持率10.3%)

びわ湖環境ビジネスメッセでは126名に投票のご協力をいただきました。作句していただいた皆様、投票してくださった皆様、ありがとうございました。引き続き、M・O・Hせんりゅうへのご応募をお待ちしております♪

マンガ作家紹介

本誌の左下と右下をパラパラして下さい。
何かが動きます。左の4コママンガも。

サトウユウコ

●郷内ユウコ
(4コマ)

色鉛筆が好きで、マンガやイラストなどを作成しています。



●しおん
(左ページ)

漫画やイラストの創作を中心活動しています。



●恵岳

(右ページ)
手拭いの素晴らしさを伝えています。
<http://www.jikan-style.net>

「バトンタッチ」

新しい年を迎える気持ちが少しでも明るくなるように干支で表現してみました。

「ブチクリスマス」
クリスマスの飾りつけにスノードームはいかがでしょうか。



★49号、特に表紙の大銀杏が印象的です。森代表の巻頭言「衣食住は地産地消の原点だ」、同感です。

もつたない学会 石井 吉徳

★49号の巻頭言は同感です。こはん大きさ!「ござにぎの会でお借りしている古民家は、文政10年頃の建物ですが、この場所を使う人がなくてさみしい限りです。ぜひ足をお運び頂けたら幸いです。

長浜市 北村 優子

★49号届きました。ボーラスタさん一度行つてみます。ワクワク☆

草津市 高屋 佳典

★琵琶湖汽船の川戸社長のボリシート情熱には嬉しくなりました。山と海・湖と平野の三要素が地球の全てですが、それをワープ akt にした滋賀には、そこに生きた人間と汗と知恵があり、未来がありそうです。

びわ湖夢王国 國松 善次

★ピアンカでの日本遺産クルーズでこの冊子を知りました。もっとと滋賀のことを知りたいので送付お願ひします。

大津市 浅田 良雄

★「しがのえもん五十三次(木編)」が良かつたです。選定のされ方が柔軟かつ自由自在、時を越え、ジャンルを超え、滋賀を十分に味わわせて頂きました。

大津市 桶口 てい子

★森代表をはじめ、関係者の皆さん活動には常に共感しています。私も「環境を守るいまづの会」の員として自然環境の保全とその大切さを広報「ひつじぐさ」の発行等を通して啓発に努めています。

高島市 深田 源蔵

★私自身も農業・食・環境・健康に通ずる活動をしたいと思い、農業に関しては市の会議に一般委員で参加させてもらっているので勉強になります。

草津市 大塚 佐緒里

M・O・Hせんじゅ

旅に出て	雨があがつて	おかげさま
長浜市 木村 達男	古い家具 もつたいたくて	すてられない
長浜市 勝木 育子	若者よ スマホゲームも	ほどほどに
古野 末代	おかげさま 親の生き方	思い出し
長浜市 中島 久子	欲しかった モノは3日後	スクラップ
長浜市 富田 東作	何事も 命のかぎり	おかげさま
小川 正子	妻のぐち 俺のぐち	ほどほどに
匿名	おかげさま 気持ち通じる	よい言葉
長浜市 南部 敬子	想い出は 母が言つた	もつたない
愛荘町 藤居 美津子		

編集光記

- 皆様のおかげさまで、50号を発行することができました。心から感謝を申し上げます。M・O・H cafe3でお会いしましょう。……………こと
- M・O・H通信、新江州の中で多くの出会いと学びの場を与えて頂き感謝の気持ちでいっぱいです。この財産を大切に歩んでいきます。…ひとみ
- 大病からワクワクドキドキの取材現場に復帰して、あっという間の1年。仕事ができることに感謝。2016年が皆様にとって幸せな年になりますように。……………あや
- 新しい年は色々動きがありそう…。いつまでも変化を楽しめる、心身ともにしなやかな人でいいなあ。……………なお

《次号予定》 2016年3月発行予定

■特集：未来につなぐ「人」

- M・O・Hな人／「ノルディック ステッキの心」
- M・O・Hな店／「地産地消のいなり寿司専門店」
- 対談／「持続可能社会へのエール」司化成工業(株)取締役顧問 赤木清+森建司
- 寄稿／「持続可能社会への道筋」
- 寄稿／「しがのえもん五十三次」
- 寄稿／「地域エネルギーの未来」
- レポート／ブータンミュージアム、よばれやんせ湖北、深い学び塾、なでしこファーマーズほか
- 連載／通常通り

※敬称略、予告なく変更いたします

《M・O・H通信》受付中!

あなたも「M・O・H通信」を読んでみませんか。ご希望の方は、下記の必要事項をご記入の上、FAX、郵送、メールのいずれかでお申し込みください。M・O・H通信をお送りし

ます。あなたの活動やM・O・H通信へのご意見もお聞かせください。

なお、ご不要になった場合は、お名前・住所をご記入の上、お知らせください。

《M・O・H通信》申込書

FAX 0749-72-8681

M・O・H通信を

送付してください ()
送付を止めてください ()

*どちらかに○を記入して下さい

フリガナ		年齢	希望冊数
お名前			
所 属			
住 所	〒		
電 話		FAX	
M・O・H通信へのメッセージ、M・O・Hせんりゅうをお書きください。			

*記入いただいた内容については、目的以外のことには使用または転用はいたしません。

キリトリ線

M・O・H通信 Vol.50(通巻51号) 2015年12月25日発行 発行部数6,000部

●編集・発行/新江州(株)

経営企画部
循環型社会システム研究所
M・O・H通信編集局
代 表 森 建司
編集長 辻村 瑛美
編 集 上岡 瞳
取 材 山崎 彩
協 力 青田 朋恵
デザイン 伊達デザイン室
写 真 辻村写真事務所
宇留野 元徳
表 紙 寺田 祐香吏
印 刷 クエイティペンギン
ホームページ クエイティペンギン

●創刊/2003年3月度

●執筆者懇談会

内藤 正明 木村 至宏
嘉田 由紀子 小林 隆彰
海東 英和 山口 美知子
今関 信子 豊田 一美
末永 國紀 熊谷 英彦
花田 真理子 藤井 純子
弘中 史子 仁連 孝昭
山崎 隆 今森 光彦
三山 元暉 川戸 良幸
加藤 みゆき 鵜飼 修
清水 安治 ブライアン・ウイリアムズ
森 孝之 中川 善雄
堀越 昌子 古田 紀子
結城 美枝子 清水陽介
井上 昌幸 (順不同・敬称略)

●ご協力

滋賀県 滋賀県立大学
琵琶湖環境科学研究所センター 近江環人地域再生学座
もったいない学会 環人ネット
循環共生社会システム研究所 野洲生活学校
麻生里山センター 長浜バイオビジネス創出研究会
(順不同)

●支援

新江州(株)
〒526-0111 滋賀県長浜市川道町759-3
TEL.0749-72-5277 FAX.0749-72-8681

★ブログ★

<http://moh.shiga-saku.net/>

★ホームページ★

<http://www.mohmoh.jp/>



M・O・H図書館

検索

*記事中の写真・本文につきましては、無断転載を禁じます。

「循環型社会を目指す～M・O・H通信～」の 発行に当たって

代表 森 建司

20世紀型社会は経済至上主義の時代であった。科学技術の進歩とそれに伴う工業や流通の発展は、世界的なスケールで人々に物による恩恵をもたらしたが、同時にバランスのとれた自然との共生社会を破壊した。経済至上主義とは物の豊かさを最高の幸せとして捉え、その対極にあるものの価値をほとんど消し去ろうとするものである。人々の価値観を情報操作で画一化して、特定のものに集中させようとするマーケット戦略は個人の人生観、社会観にまで侵入し、その独自性、不可侵性まで奪って行った。このことによって人々は哲学的な意味の自己をなくしてしまった。

今こそ新しい時代として循環型社会を作ろうとしているわれわれは、自己を証明する心とか思いを取り戻さなければならぬ。死生観や人生観、先祖や子孫、生涯をかける志、自己を自己らしく生き抜くための人生哲学など。そしてそれは自然との共生社会を目指すものであり、人としての真の生き様を問うものであらねばならない。

この実現のために

「循環型社会を目指す～M・O・H通信～」を発行する。

《 M・O・H通信概要 》

■目的

- (1) 循環型社会構築に向けた意識改革
- (2) 浪費型社会通念の脱却
- (3) 人生哲学を学ぶ

■事業

- (1) 通信の発行及び出版
- (2) 講演会、勉強会、シンポジウムなどイベントの開催

■事務局

〒526-0111

滋賀県長浜市

川道町759-3

循環型社会システム研究所

TEL.0749-72-5277

FAX.0749-72-8681

e-mail:tsujimura@

shingoshu.co.jp

代表:森 建司

担当:辻村 琴美

上岡 瞳

キリトリ線
郵便はがき

〒526-0111

滋賀県長浜市川道町 759-3

52円
切手を貼って
お出しください

新江州株式会社
M・O・H 通信事務局 行

持続可能社会に向かって議論しよう！ M・O・H cafe3 もうカフェ3 「M・O・H通信」読者交流会

皆様の温かいご声援で弊誌は50号を迎えることができました。環境を軸とした循環型社会への普及が10年余りの時間をかけて浸透し、市民活動が活性化し、企業活動や行政政策にも反映できるようになりました。次のステージに向けた持続可能社会への扉を開きましょう。

■日時 2016年3月13日(日)13:30～16:00
■場所 長浜ロイヤルホテル滋賀県長浜市大島町38

■定員 60名(先着順・要予約)

■参加費 2,000円(軽食代金など)

■テーマ 持続可能社会に向かって議論しよう！

■プログラム 基調講演 森建司 ほか

■主催 M・O・H通信、M・O・H通信執筆者懇談会

■申込み・問合せ

M・O・H通信事務局

TEL:0749-72-5277 FAX:0749-72-8681

Mail:tsujimura@shingoshu.co.jp

■締切 3月8日(火)

参加をご希望の方は、下記に必要事項をご記入のうえ切手を貼ってご投函ください。
お申し込み時に定員に達しておりますたらご連絡さしあげます。

-----キリトリ線-----

M・O・H cafe3 もうカフェ3 参加申し込み

フリガナ			所属	※グループでお申込みの場合、同伴される方のお名前をご記入ください。
お名前				
住 所	〒			
電 話		FAX		
メー ル				